

第 6 次 N A C C S 業務仕様書

目次

1. 輸出関連業務

- ・「貨物情報切替登録 (CHG)」業務・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1-8
- ・「貨物情報切替登録呼出し (CHG 1 1)」業務・・・・・・・・ P 9-18
- ・「貨物情報切替確認登録 (CHH)」業務・・・・・・・・ P 19-26
- ・「貨物情報切替確認登録呼出し (CHH 1 1)」業務 P 27-36

2. 輸入関連業務

- ・「保税運送申告 (一般) (OLT) / 呼出し (OLT 0 1)」業務 P 37-56
- ・「機用品蔵入等承認申請事項登録 (CTA)」業務 P 57-76
- ・「機用品蔵入等承認申請 (CTC)」業務 P 77-88

2073. 貨物情報切替登録

業務コード	業務名
CHG	貨物情報切替登録

1. 業務概要

当初海上貨物として輸出予定であった貨物について、航空機に搭載する場合、海上貨物から航空貨物へ切り替える旨をシステムに登録する。

本業務により、切り替えが可能な貨物は、以下のとおりである。

- ①海上貨物としてシステムにより輸出等許可された貨物で、1ヶ所の保税地域に全量蔵置されている貨物。
- ②海上貨物として船卸された仮陸揚貨物で、1ヶ所の保税地域に全量蔵置されている貨物。

また、登録した切替情報は、本業務により「貨物情報切替確認登録（CHH）」業務までの間、任意に訂正及び取り消しができる。

なお、後続のCHH業務が実施された時点で、海上貨物から航空貨物への切り替えが行われる。

また、本業務で作成された航空貨物に対して、「混載仕立情報登録（HDF01）」業務等で更新等を行う場合は、CHH業務実施後に行う必要がある。

2. 入力者

通関業、保税蔵置場、CY、NVOCC、海貨業

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②保税蔵置場またはCYが行う場合は、入力者が管理する保税蔵置場またはCYに蔵置されていること。
- ③訂正及び取り消しの場合は、貨物情報DBに登録されている貨物情報切替登録者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 貨物情報DBチェック（海上）

入力された貨物管理番号について以下のチェックを行う。

- (A) 貨物管理番号に対する貨物情報DBが存在すること。
- (B) 輸出貨物、積戻し貨物または仮陸揚貨物のいずれかであること。
- (C) 輸出貨物または積戻し貨物の場合は、以下のチェックを行う。
 - ①システムにより輸出等許可済となった貨物であること。
 - ②「輸出許可内容変更申請事項登録（EAA）」業務等で航空貨物への変更が行われていること。
 - ③輸出許可内容変更申請承認済みであること。
- (D) 貨物手作業移行されていないこと。
- (E) 1ヶ所の保税蔵置場またはCYに全量蔵置されていること。
- (F) 蔵置場所がシステムに参加している保税地域であること。
- (G) コンテナ詰貨物でないこと。
- (H) 「貨物取扱登録（改装・仕分け）（SHS）」業務により仕分親となっていないこと。
- (I) 貨物取扱許可申請中でないこと。
- (J) 見本持出許可申請中でないこと。
- (K) 訂正保留中でないこと。
- (L) 保税運送申告中でないこと。

- (M) 保税運送承認済みの場合は、承認に係る運送が完了していること。
 - (N) 他所蔵置許可申請中でないこと。
 - (O) 「許可・承認等情報登録（保税）（PSH）」業務により以下の登録がされていないこと。
 - ・ 亡失届受理
 - ・ 滅却承認
 - ・ 現場収容
 - ・ 税関内収容
 - ・ その他の搬出承認
 - (P) 貨物差止め登録がされていないこと。
 - (Q) 事故貨物の場合は、税関による事故確認登録がされていること。
 - (R) 登録の場合、CHG業務が行われていないこと。
 - (S) 訂正及び取り消しの場合、CHG業務が行われていること。
 - (T) 訂正及び取り消しの場合、CHH業務が行われていないこと。
- (4) 輸出貨物情報DBチェック（航空）
- (A) 登録の場合
 - 入力されたAWB番号に対する輸出貨物情報DBが存在しないこと。
 - (B) 訂正及び取消しの場合
 - ①入力されたAWB番号に対する輸出貨物情報DBが存在すること。
 - ②本業務により作成された貨物であること。
 - ③保税運送申告されていないこと。

5. 処理内容

- (1) 入力チェック処理
 - 前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「000000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。
 - 合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）
- (2) 貨物情報DB処理（海上）
 - 入力された貨物管理番号について以下の処理を行う。
 - (A) 登録の場合、海上貨物から航空貨物へ切替登録された旨を登録する。
 - (B) 取消しの場合、海上貨物から航空貨物へ切替登録された旨を取り消す。
- (3) 輸出貨物情報DB処理（航空）
 - 入力されたAWB番号について以下の処理を行う。
 - (A) 登録及び訂正の場合
 - ①AWB番号が輸出貨物情報DBに存在する場合、海上貨物から航空貨物へ切替登録された情報を更新する。
 - ②AWB番号が輸出貨物情報DBに存在しない場合、輸出貨物情報を作成し、海上貨物から航空貨物へ切替登録された情報を登録する。
 - (B) 取消しの場合
 - ①海上貨物から航空貨物へ切替登録された情報を取り消す。
 - ②本業務により作成された貨物の場合は、輸出貨物情報を削除する。
- (4) 出力情報出力処理
 - 後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

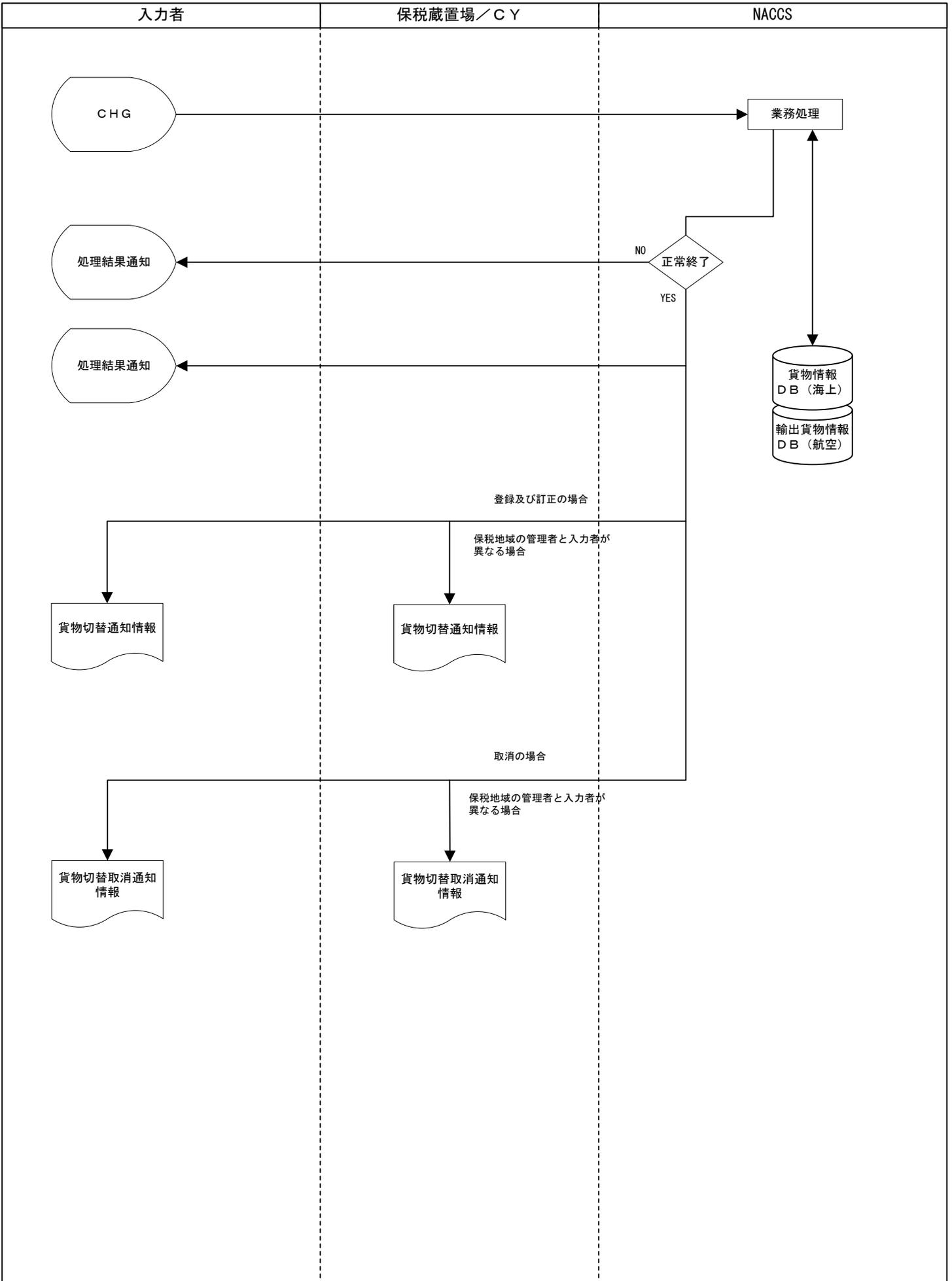
6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
貨物切替通知情報	登録または訂正の場合	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 登録または訂正の場合 (2) 保税地域の管理者と入力者が異なる場合	保税蔵置場、CY
貨物切替取消通知情報	取消しの場合	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 取消しの場合 (2) 保税地域の管理者と入力者が異なる場合	保税蔵置場、CY

7. 特記事項

本業務が行われた場合、当該貨物に対して、「貨物情報切替登録呼出し（CHG11）」業務、「貨物情報切替確認登録呼出し（CHH11）」業務、CHH業務及び「貨物情報照会（ICG）業務」以外の海上業務は実施不可となるので留意すること。

業務コード	業務名
CHG	貨物切替情報登録



業務名 (業務コード)		貨物情報切替登録 (CHG)																
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件						コード	入力条件/形式			
								新規登録			訂正					取消し		
1		入力共通項目		an	398			M				M						
2		処理区分	KND	an	1			M				M						9:登録 5:訂正 1:取消し
3		搬出先保税蔵置場	HW H	an	5			C				C					保税地域コード	航空での搬入予定蔵置場を入力
4		航空貨物代理店	AG T	an	5			C				C					利用者コード	
5		貨物管理番号	CGO	an	35			M				M						(1) B/L番号または輸出管理番号を入力 (2) カンマ入力がないこと
6		貨物識別	KS B	an	1			M				M						A:AWB H:HAWB
7		AWB番号	AW B	an	20			M				M						(1) AWBの場合は、AWB番号を11桁以内で入力 (2) HAWBの場合は、HAWB番号を16桁以内で入力 (3) 訂正の場合、変更不可 (4) チェックデジット・チェックを行う旨がシステムに登録されている場合は、チェックデジット・チェックを行う (5) 枝番は、入力不可
8		貨物種別	SY B	an	1			M				M						T:輸出許可済貨物(海上申告) O:積戻し許可済貨物(海上申告) K:仮陸揚貨物
9		個数	IP S	n	6			M				M						
10		重量	IW T	n	8			M				M						(1) キログラム単位で入力 (2) 整数部6桁、小数部1桁
11		仕向地	DS T	an	3			M				M					IATA空港コード 及び IATA都市コード	仕向地が不明の場合は、「ZZZ」を入力
12		特殊貨物記号	SP C	an	3			C				C					S P C (特殊貨物) コード 及び 危険貨物等コード	別送品輸出許可済み貨物の場合は、「UBG」を必須入力
13		代理店営業所	BO C	an	3			C				C					代理店営業所コード	搬入すべき貨物の代理店営業所を入力
14		混載業	CD C	an	5			C				C					利用者コード	(1) 貨物識別欄が「H」(HAWB)の場合は、搬入すべき貨物の混載業を必須入力 (2) 貨物識別欄が「A」(AWB)の場合は、入力不可
15		航空会社	AL C	an	2			C				C					航空会社コード	(1) 貨物識別が「A」(AWB)の場合は、航空会社を必須入力 (2) 貨物識別欄が「H」(HAWB)の場合は、入力不可
16		積込港	AD P	an	3			M				M					IATA空港コード	
17		品名	CM D	an	21			M				M						

CHG 貨物情報切替登録

ファイル(F) 表示(V)

処理区分* (9 : 登録 5 : 訂正 1 : 取消し)

搬出先保税蔵置場

航空貨物代理店

貨物管理番号*

貨物識別

AWB番号 - 貨物種別

個数 重量

仕向地

SPC

代理店営業所

混載業

航空会社

積込港

品名

出力情報名 (出力情報コード)		処理結果通知 (*SCHG)																	
項番	欄	項目名	属性	桁	繰1	繰2	条件										コード	出力条件/形式	
1		出力共通項目	an	398			M												メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・ 貨物管理番号 35桁
2		処理結果コード	an	75			M											処理結果コード	システムで判定された処理結果を出力
3		貨物管理番号	an	35			C												入力された貨物管理番号を出力

2072. 貨物情報切替登録呼出し

業務コード	業務名
CHG11	貨物情報切替登録呼出し

1. 業務概要

当初海上貨物として輸出予定であった貨物について、航空機で搭載する場合、「貨物情報切替登録（CHG）」業務に先立ち、システムに登録されている海上貨物情報より、当該業務に利用しうる情報を呼び出す。また、訂正及び取消しの場合は、CHG業務により登録された情報を呼び出す。

呼び出された情報は、本業務において入力された処理区分コードに従って、CHG業務により登録・訂正・取消しを行うことが可能である。

なお、本業務により、呼び出しが可能な海上貨物は、以下のとおりである。

- ①海上貨物としてシステムにより輸出等許可された貨物で、1ヶ所の保税地域に全量蔵置されている貨物。
- ②海上貨物として船卸された仮陸揚貨物で、1ヶ所の保税地域に全量蔵置されている貨物。

2. 入力者

通関業、保税蔵置場、CY、NVOCC、海貨業

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②保税蔵置場またはCYが行う場合は、入力者が管理する保税蔵置場またはCYに蔵置されていること。
- ③訂正及び取り消しの場合は、貨物情報DBに登録されている貨物情報切替登録者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 貨物情報DBチェック（海上）

入力された貨物管理番号について以下のチェックを行う。

- (A) 貨物管理番号に対する貨物情報DBが存在すること。
- (B) 輸出貨物、積戻し貨物または仮陸揚貨物のいずれかであること。
- (C) 輸出貨物または積戻し貨物の場合は、以下のチェックを行う。
 - ①システムにより輸出等許可済となった貨物であること。
 - ②「輸出許可内容変更申請事項登録（EAA）」業務等で航空貨物への変更が行われていること。
 - ③輸出許可内容変更申請承認済みであること。
- (D) 貨物手作業移行されていないこと。
- (E) 1ヶ所の保税蔵置場またはCYに全量蔵置されていること。
- (F) 蔵置場所がシステムに参加している保税地域であること。
- (G) コンテナ詰貨物でないこと。
- (H) 「貨物取扱登録（改装・仕分け）（SHS）」業務により仕分親となっていないこと。
- (I) 貨物取扱許可申請中でないこと。
- (J) 見本持出許可申請中でないこと。
- (K) 訂正保留中でないこと。
- (L) 保税運送申告中でないこと。
- (M) 保税運送承認済みの場合は、承認に係る運送が完了していること。
- (N) 他所蔵置許可申請中でないこと。

- (O) 「許可・承認等情報登録（保税）（PSH）」業務により以下の登録がされていないこと。
 - ・ 亡失届受理
 - ・ 滅却承認
 - ・ 現場収容
 - ・ 税関内収容
 - ・ その他の搬出承認
- (P) 貨物差止め登録がされていないこと。
- (Q) 事故貨物の場合は、税関による事故確認登録がされていること。
- (R) 登録の場合、CHG業務が行われていないこと。
- (S) 訂正及び取り消しの場合、CHG業務が行われていること。
- (T) 訂正及び取り消しの場合、CHH業務が行われていないこと。

(4) 輸出貨物情報DBチェック（航空）

訂正及び取り消しの場合、CHG業務で登録されたAWB番号について、以下のチェックを行う。

- ①AWB番号に対する輸出貨物情報DBが存在すること。
- ②CHG業務により作成された貨物であること。
- ③保税運送申告されていないこと。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 貨物情報切替登録呼出情報編集処理

(A) 登録の場合

貨物情報DB（海上）より貨物情報切替登録呼出情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(B) 訂正または取り消しの場合

貨物情報DB（海上）及び輸出貨物情報DB（航空）より貨物情報切替登録呼出情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

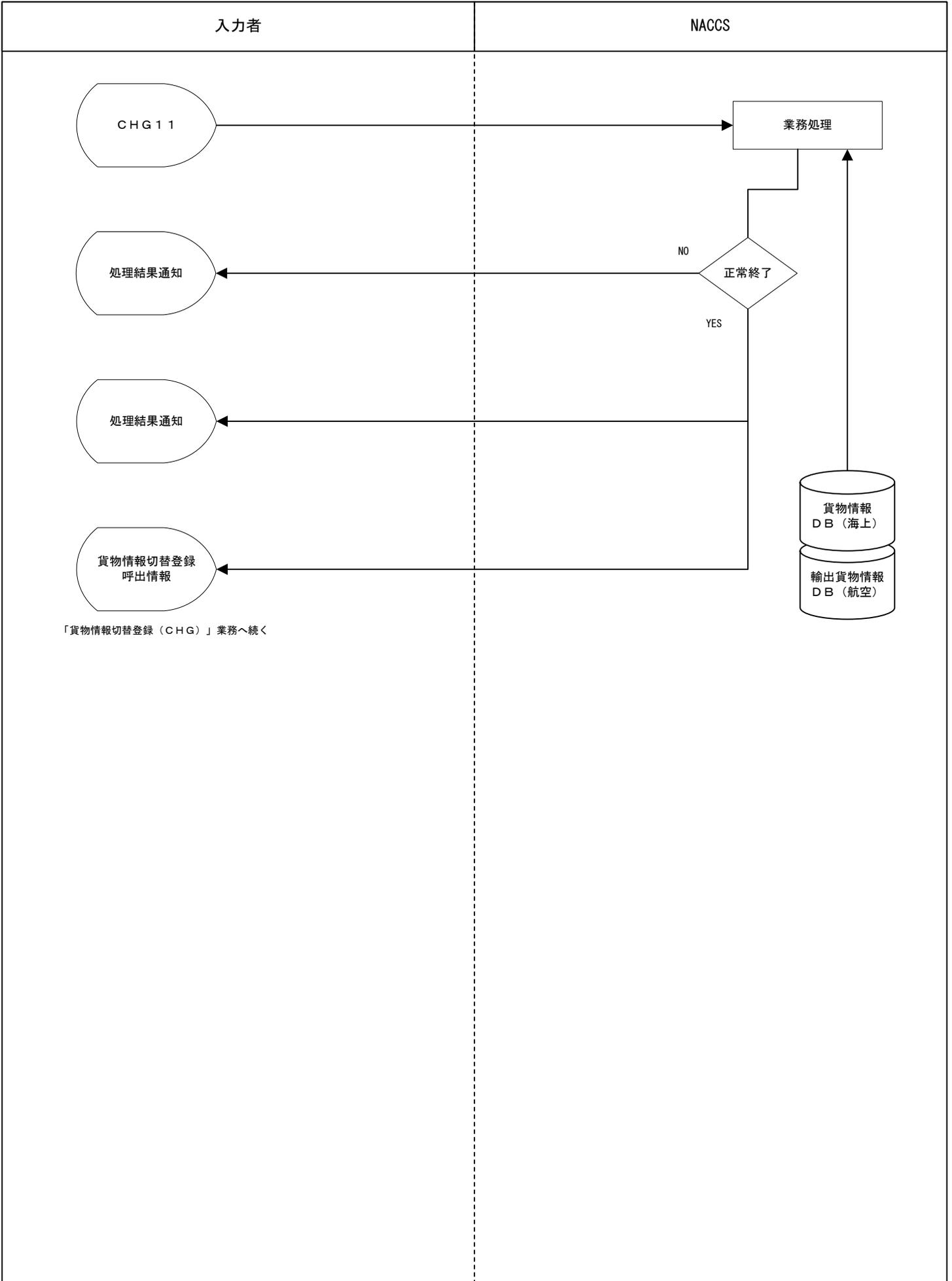
(3) 注意喚起メッセージ出力処理

呼出情報を元に登録内容または変更内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
貨物情報切替登録呼出情報	なし	入力者

業務コード	業務名
CHG11	貨物情報切替登録呼出し



業務名 (業務コード)		貨物情報切替登録呼出し (CHG 1 1)																				
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件										コード	入力条件/形式			
1		入力共通項目		an	398			M														
2		処理区分	KND	an	1			M														9 : 登録 5 : 訂正 1 : 取消し
3		貨物管理番号	CGO	an	35			M														(1) B/L番号または輸出管理番号を必須入力 (2) カンマ入力がないこと

貨物情報切替登録呼出し

ファイル(F) 表示(V)

処理区分* (9 : 登録 5 : 訂正 1 : 取消し)

貨物管理番号*

出力情報名 (出力情報コード)		処理結果通知 (*SCHG11)																	
項番	欄	項目名	属性	桁	繰1	繰2	条件										コード	出力条件/形式	
1		出力共通項目	an	398			M												メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・ 貨物管理番号 35桁
2		処理結果コード	an	75			M											処理結果コード	システムで判定された処理結果を出力
3		貨物管理番号	an	35			C												入力された貨物管理番号を出力

CHG 貨物情報切替登録

ファイル(F) 表示(V)

処理区分* (9 : 登録 5 : 訂正 1 : 取消し)

搬出先保税蔵置場

航空貨物代理店

貨物管理番号*

貨物識別

AWB番号 - 貨物種別

個数 重量

仕向地

SPC

代理店営業所

混載業

航空会社

積込港

品名

2074. 貨物情報切替確認登録

業務コード	業務名
CHH	貨物情報切替確認登録

1. 業務概要

貨物管理番号を入力することにより、「貨物情報切替登録（CHG）」業務で登録した海上貨物から航空貨物への切り替え情報を確認した旨及び搬出した旨を登録する。

また、航空貨物情報については保税蔵置場から搬出した旨を登録し、入力者及び搬出先（LDR情報を入力する旨が登録されている航空会社）に対してLDR情報を入力する。

なお、本業務を契機にCHG業務による訂正及び取消しは不可となる。

2. 入力者

保税蔵置場、CY

3. 制限事項

なし。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②海上貨物の蔵置場所を管理する利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 貨物情報DBチェック（海上）

- (A) 入力された貨物管理番号が貨物情報DBに存在すること。
- (B) CHG業務が実施されていること。
- (C) CHH業務が実施されていないこと。

(4) 輸出貨物情報DBチェック（航空）

CHG業務で登録されたAWB番号について、以下のチェックを行う。

- (A) AWB番号に対する輸出貨物情報DBに存在すること。
- (B) 仮陸揚貨物の場合は、以下のチェックを行う。
 - ①保税運送承認がされていること。
 - ②搬出先保税蔵置場に入力がある場合は、保税運送承認された運送先保税蔵置場と一致すること。
- (C) HAWBの場合は搬出先が航空会社でないこと。
ただし、以下の条件のいずれかの場合は除く。
 - ①仮陸揚貨物
 - ②システムにおいて未仕立て貨物搬入可能の旨が登録されている航空会社保税蔵置場向けの搬出

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外の処理結果コードを設定の上、処理結果通知出力処理を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 搬出番号の払い出し処理

搬出番号をシステムで払い出す。

(3) 貨物情報DB処理（海上）

- ①システムで払い出した搬出番号を登録する。
- ②当該保税地域より搬出した旨を登録する。
- ③貨物情報切り替え確認済の旨を登録する。
- ④削除表示を設定する。

(4) LDR番号の払い出し処理

LDR番号をシステムで払い出す。

(5) LDR・搬入伝票DB処理

- ①LDR情報を新規作成する。
- ②当該保税地域より搬出した旨を登録する。

(6) 輸出貨物情報DB処理（航空）

- ①貨物情報切り替え確認済の旨を登録する。
- ②システムで払い出したLDR番号を登録する。
- ③搬出した旨を登録する。

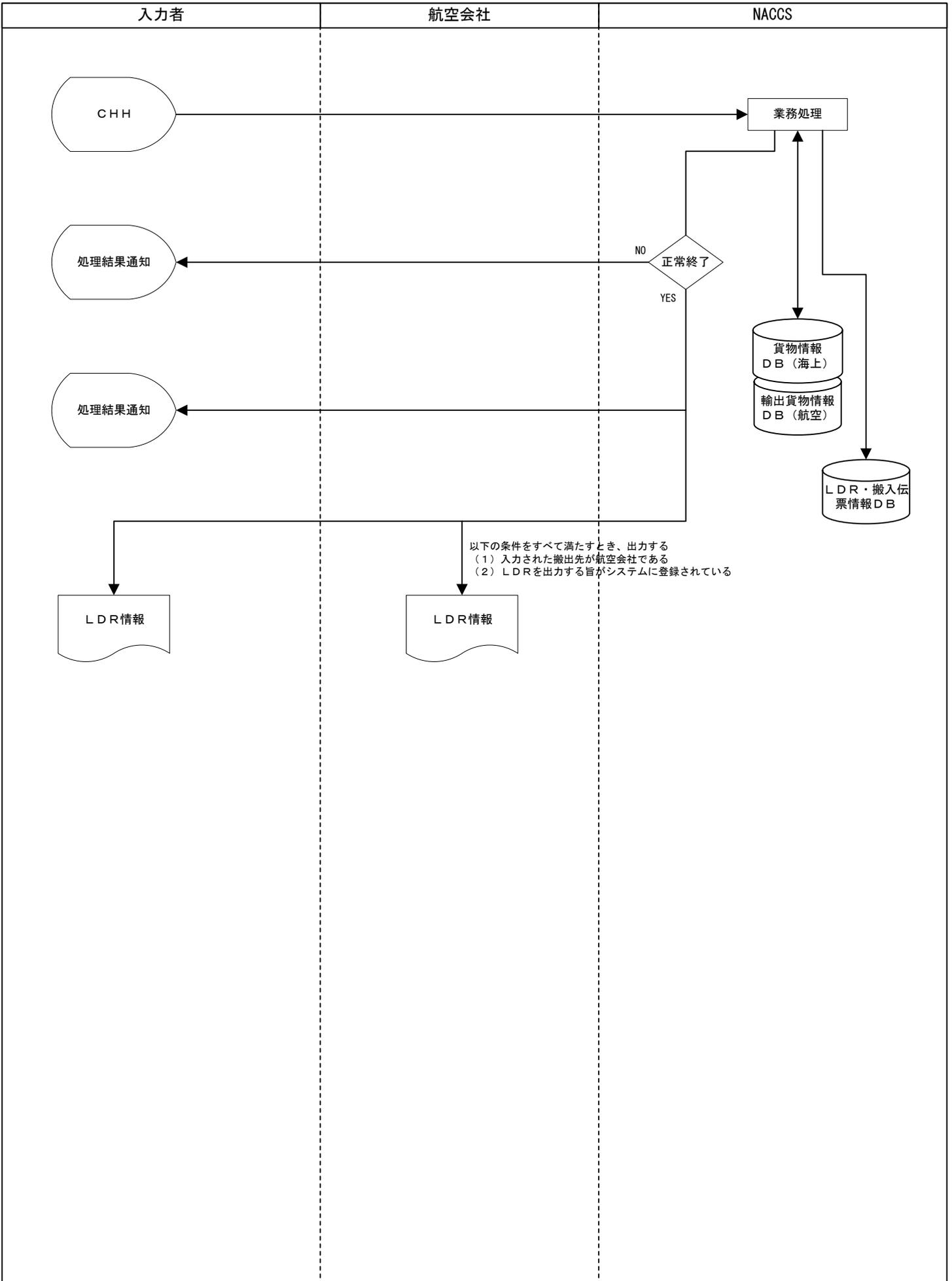
(7) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
LDR情報	なし	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 入力された搬出先が航空会社である場合 (2) LDRを出力する旨がシステムに登録されている場合	航空会社

業務コード	業務名
CHH	貨物情報切替確認登録



業務名 (業務コード)		貨物情報切替確認登録 (CHH)																			
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件										コード	入力条件/形式		
1		入力共通項目		an	398			M													
2		搬出先保税蔵置場	HW H	an	5			C												保税地域コード	(1) 航空での搬出先保税蔵置場を入力 (2) 輸出貨物または積戻し貨物の場合は必須入力 (3) 仮陸揚貨物の場合で入力がない場合は、保税運送承認された運送先保税蔵置場をシステムで補完する。
3		貨物管理番号	CGO	an	35			M													(1) B/L番号または輸出管理番号を入力 (2) カンマ入力がないこと

CHH 貨物情報切替確認登録

ファイル(F) 表示(V)

搬出先保税蔵置場

貨物管理番号*

出力情報名 (出力情報コード)		処理結果通知 (*SCHH)																	
項番	欄	項目名	属性	桁	繰1	繰2	条件										コード	出力条件/形式	
1		出力共通項目	an	398			M												メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・ 貨物管理番号 35桁
2		処理結果コード	an	75			M											処理結果コード	システムで判定された処理結果を出力
3		貨物管理番号	an	35			C												入力された貨物管理番号を出力

2075. 貨物情報切替確認登録呼出し

業務コード	業務名
CHH11	貨物情報切替確認登録呼出し

1. 業務概要

貨物管理番号を入力することにより、「貨物情報切替確認登録（CHH）」業務に先立ち、「貨物情報切替登録（CHG）」業務で登録した情報の呼び出しを行う。

2. 入力者

保税蔵置場、CY

3. 制限事項

なし。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②海上貨物の蔵置場所を管理する利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 貨物情報DBチェック（海上）

- (A) 入力された貨物管理番号が貨物情報DBに存在すること。
- (B) CHG業務がされていること。
- (C) CHH業務が実施されていないこと。

(4) 輸出貨物情報DBチェック（航空）

CHG業務で登録されたAWB番号について、以下のチェックを行う。

- (A) AWB番号に対する輸出貨物情報DBに存在すること。
- (B) 仮陸揚貨物の場合は、保税運送承認がされていること。
- (C) HAWBの場合は搬出先が航空会社でないこと。

ただし、以下の条件のいずれかの場合は除く。

①仮陸揚貨物

- ②システムにおいて未仕立て貨物搬入可能の旨が登録されている航空会社保税蔵置場向けの搬出

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コード「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外の処理結果コードを設定の上、処理結果通知出力処理を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 貨物情報切替確認登録呼出情報編集処理

貨物情報DB（海上）及び輸出貨物情報DB（航空）より貨物情報切替確認登録呼出し結果情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

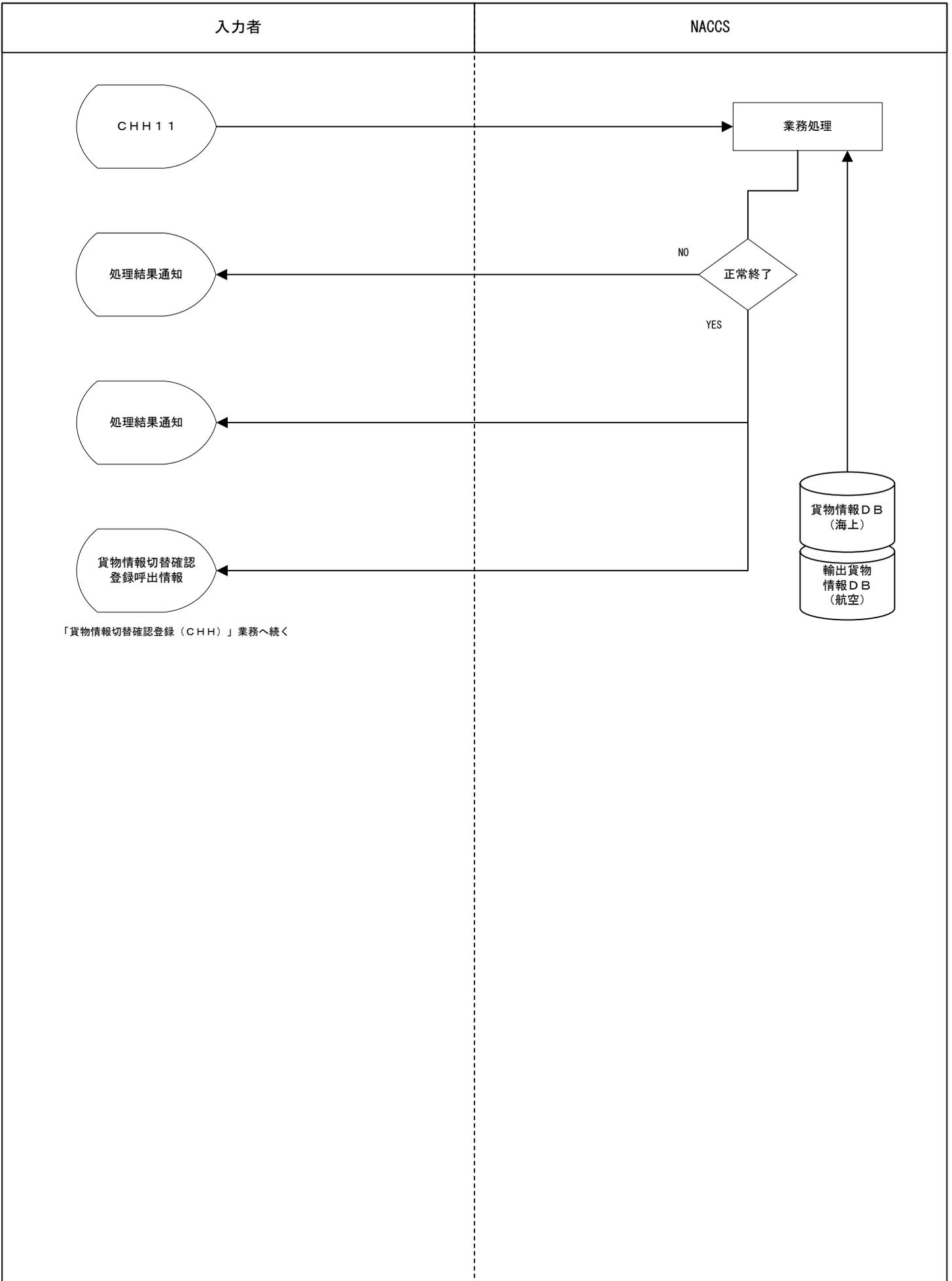
(3) 注意喚起メッセージ出力処理

呼出情報を元に登録内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

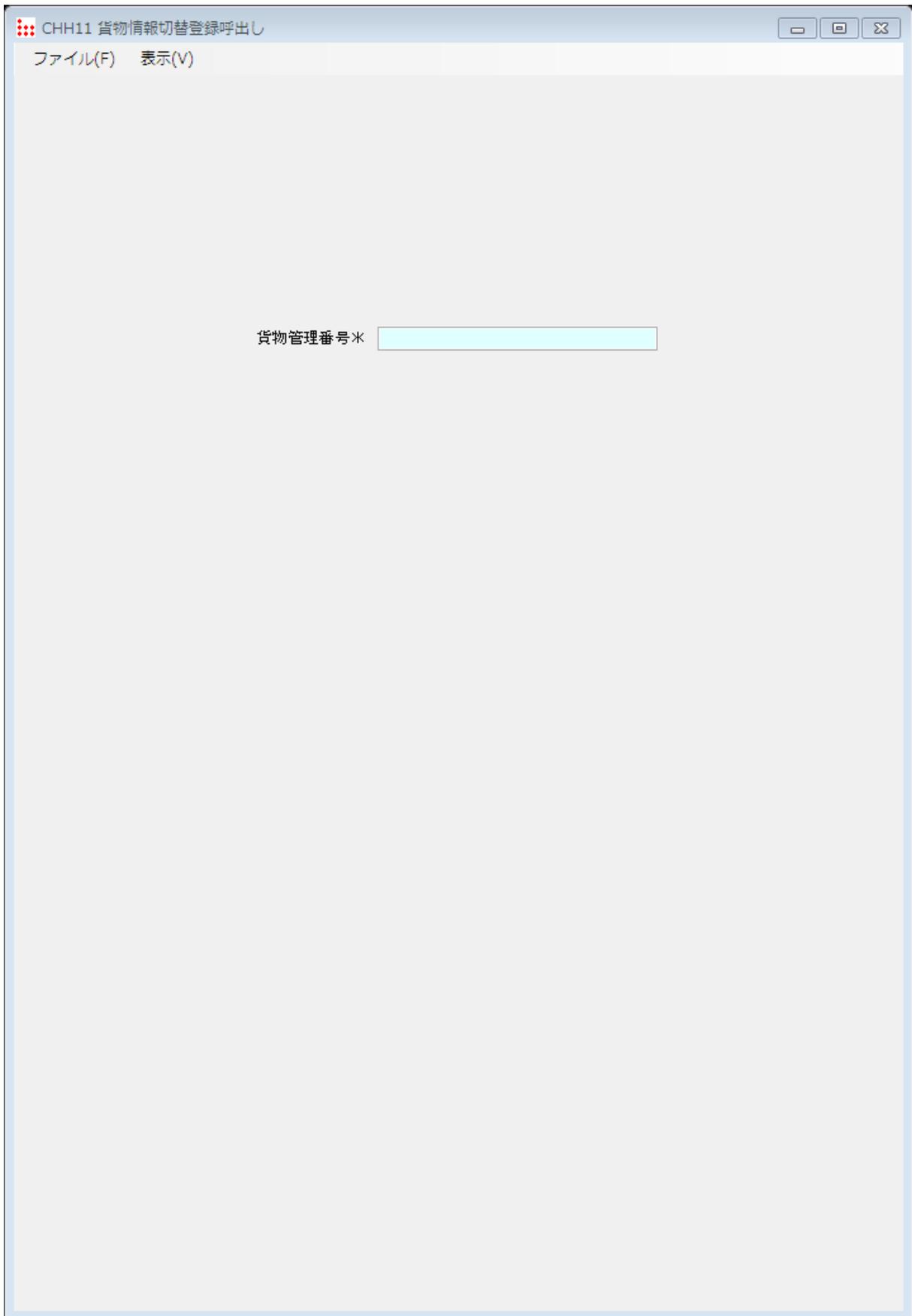
6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
貨物情報切替確認登録 呼出情報	なし	入力者

業務コード	業務名
CHH11	貨物情報切替確認登録呼出し



業務名 (業務コード)		貨物情報切替確認呼出し (CHH 1 1)																				
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰 1	繰 2	条件										コード	入力条件/形式			
1		入力共通項目		an	398			M														
2		貨物管理番号	CGO	an	35			M														(1) B/L 番号または輸出管理番号を必須入力 (2) カンマ入力がないこと



出力情報名 (出力情報コード)		処理結果通知 (*SCHH11)																	
項番	欄	項目名	属性	桁	繰1	繰2	条件										コード	出力条件/形式	
1		出力共通項目	an	398			M												メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・ 貨物管理番号 35桁
2		処理結果コード	an	75			M											処理結果コード	システムで判定された処理結果を出力
3		貨物管理番号	an	35			C												入力された貨物管理番号を出力

出力情報名(出力情報コード)		貨物情報切替確認登録呼出情報 (SAT211)																
項番	欄	項目名	属性	桁	線1	線2	条件										コード	出力条件/形式
1		出力共通項目	an	398			M											メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・貨物管理番号 35桁
2		搬出先保税蔵置場	an	5			C										保税地域コード	(1) 貨物種別が「K」の場合は、航空での保税運送承認された運送先保税蔵置場を出力 (2) 貨物種別が「T」または「O」の場合は、「貨物情報切替登録 (CHG)」業務で登録された搬出先保税蔵置場を出力
3		航空貨物代理店	an	5			C										利用者コード	CHG業務で登録された航空貨物代理店を出力
4		貨物管理番号	an	35			M											入力された貨物管理番号を出力
5		貨物識別	an	1			M											CHG業務で登録された貨物識別を出力
6		AWB番号	an	20			M											CHG業務で登録されたAWB番号を出力
7		貨物種別	an	1			M											CHG業務で登録された貨物種別を出力
8		個数	n	6			M											CHG業務で登録された搬入個数を出力
9		重量	n	8			M											CHG業務で登録された搬入重量を出力
10		仕向地	an	3			M										IATA空港コード 及び IATA都市コード	CHG業務で登録された仕向地を出力
11		特殊貨物記号	an	3			C										SPC (特殊貨物)コード 及び 危険貨物等コード	CHG業務で登録された特殊貨物記号を出力
12		代理店営業所	an	3			C										代理店営業所コード	CHG業務で登録された代理店営業所を出力
13		混載業	an	5			C										利用者コード	CHG業務で登録された混載業を出力
14		航空会社	an	2			C										航空会社コード	CHG業務で登録された航空会社を出力
15		積込港	an	3			M										IATA空港コード	CHG業務で登録された積込港を出力
16		品名	an	21			M											CHG業務で登録された品名を出力

CHH 貨物情報切替確認登録

ファイル(F) 表示(V)

搬出先保税蔵置場

貨物管理番号*

航空貨物代理店

貨物識別

A W B 番号 - 貨物種別

個数 重量

仕向地

S P C

代理店営業所

混載業

航空会社

積込港

品名

4 5 1 6. 保税運送申告（一般）

業務コード	業務名
OLT	保税運送申告（一般）呼出し
OLT01	保税運送申告（一般）

1. 業務概要

AWB、HAWBまたは「混載貨物確認情報登録（HPK）」業務が未入力の場合MAWB単位に保税運送申告、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録を行う。

また、積戻し未通関貨物及び仮陸揚貨物（海上からの移送貨物）についても、保税運送申告または特定保税運送を行うことができる。

ただし、同一許可保税蔵置場及び総合保税地域としてシステムに登録されている蔵置場所間における貨物移動の場合は、本業務の対象外とし、「貨物移動情報登録（KAM）」業務の対象とする。

なお、包括保税運送承認番号を入力することにより、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録となる。

また、特定保税運送の旨を入力することにより、特定保税運送者による特定保税運送に係る運送の情報の登録となる。

申告内容に基づき、保税運送申告の場合は、「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」へ選定される。

「簡易審査扱い」に選定された申告は、即時に承認となる。

「書類審査扱い」に選定された申告は、税関が行う「保税運送申告審査終了（CET）」業務により承認の旨が入力された場合に承認となる。

本業務が税関の開庁時間外にわたる場合には、時間外執務要請届がされている必要がある。

ただし、包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録の場合は除く。

(1) 「保税運送申告（一般）呼出し（OLT）」業務の場合

運送先、発送場所及びAWB番号等を入力し、登録されているAWB情報を呼び出す。

(2) 「保税運送申告（一般）（OLT01）」業務の場合

運送先、発送場所及びAWB番号等を入力することにより、保税運送申告を行う。

2. 入力者

航空会社、通関業、機用品業、混載業、保税蔵置場、CY、NVOCC、海貨業

3. 制限事項

1業務で入力可能なAWB件数は最大12件とする。

4. 入力条件

(1) OLT業務の場合

(A) 入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②特定保税運送の登録の場合は、特定保税運送者であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(C) 輸入貨物情報DBチェック

入力された運送種別が一般運送の場合は、以下のチェックを行う。

①入力されたAWB番号に対する輸入貨物情報が輸入貨物情報DBに存在すること。

②ULD収容貨物でないこと。

③「貨物取扱登録（改装・仕分）（CHS）」業務により仕分けられた仕分け親となっていないこと。

ただし、スプリット情報仕分けの仕分け親は除く。

④CHS業務により仕分けられたスプリット情報仕分けの仕分け親となっている場合は、運送先がシステム内の保税蔵置場であること。

- ⑤HPK業務が行われたMAWBでないこと。
- ⑥入力された発送場所に蔵置されていること。
- ⑦包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録の場合で、搬出元の保税蔵置場に蔵置されている貨物に対して、税関届出を要する事故情報がある場合は、「許可・承認等情報登録（輸入保税）（PCH）」業務により事故確認が行われていること。
- ⑧入力された発送場所に本業務が未実施の個数が存在すること。
- ⑨仮陸揚貨物または機移し貨物でないこと。
- ⑩輸入申告等の輸入通関手続き（予備申告（Z申告、T申告、J申告、U申告またはS申告）は除く）がされていないこと。
- ⑪運送先に他所蔵置場所の入力がされた場合は、「他所蔵置許可申請（TZC）」業務または「許可・承認等情報登録（輸入保税）（PCH）」業務により他所蔵置許可となっていること。
- ⑫運送先に他所蔵置場所の入力がされた場合は、TZC業務により他所蔵置許可されたAWB番号とPCH業務により他所蔵置許可されたAWB番号が混在しないこと。
- ⑬他所蔵置許可されたAWB番号はすべての申請者が同一であること。
- ⑭到着即時輸入申告扱いの予備申告（航空貨物の集積場所で貨物を引き取る場合）（S申告）の登録がされている場合は、通関予定蔵置場所と本業務により入力された運送先が同一であること。
- ⑮貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。
- ⑯PCH業務により以下の登録がされていないこと。
 - 「廃棄届受理」
 - 「減却承認」
 - 「亡失届受理」
 - 「保税運送承認」
 - 「税関内収容」
 - 「現場収容」
 - 「貨物の移動差止」（包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録の場合のみ）
 - 「貨物手作業移行」
 - 「登録情報削除容認」
- ⑰「許可・承認等情報登録（輸入通関）（PAI）」業務により許可・承認登録がされていないこと。
- ⑱「許可・承認等情報登録（監視）（PAK）」業務により以下の登録がされていないこと。
 - 「外貨機用品積込承認（個別）」
 - 「外貨船用品積込承認」
 - 「別送品輸入許可」

⑲発送場所が他所蔵置場所の場合は、他所蔵置許可期間を経過していないこと。

⑳HAWBの場合は、不突合（オーバー）となっていないこと。

(D) 輸出貨物情報DBチェック

(a) 入力された運送種別が積戻し未通関貨物の運送の場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力されたAWB番号に対する輸出貨物情報が輸出貨物情報DBに存在すること。
- ②MAWBでないこと。
- ③入力された発送場所に蔵置されている貨物はすべて積戻し未通関貨物であること。
- ④入力された発送場所から搬出された積戻し未通関貨物が存在する場合は、搬入済であること。
- ⑤貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。
- ⑥貨物取扱中でないこと。
- ⑦税関届出を要する事故情報がある場合は、税関による事故確認登録がされていること。
- ⑧特定保税運送の登録の場合で、貨物差止め登録がされていないこと。

- ⑨手作業移行済の貨物でないこと。
- ⑩訂正承認保留中の貨物でないこと。
- ⑪搭載完了された貨物でないこと。
- ⑫ULDに積み付けされている貨物でないこと。

(b) 入力された運送種別が仮陸揚貨物運送（海上からの移送貨物）の場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力されたAWB番号に対する輸出貨物情報が輸出貨物情報DBに存在すること。
- ②「貨物情報切替登録（CHG）」業務が行われていること。
- ③仮陸揚貨物であること。
- ④保税運送申告が行われていないこと。
- ⑤「貨物情報切替確認登録（CHH）」業務が行われていないこと。

(E) 包括保税運送DBチェック

包括保税運送承認番号が入力された場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力された包括保税運送承認番号に対する包括保税運送情報が包括保税運送DBに存在すること。
- ②承認されていること。
- ③承認の取消しの旨が登録されていないこと。
- ④本業務の入力者と包括保税運送承認を受けた利用者が同一であること。
- ⑤登録されている発送場所及び運送先と入力された発送場所及び運送先が同一であること。
- ⑥本業務の入力年月日が包括保税運送承認期間内であること。

(2) OLT01業務の場合

(A) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②特定保税運送の登録の場合は、特定保税運送者であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(C) 輸入貨物情報DBチェック

入力された運送種別が一般運送の場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力されたAWB番号に対する輸入貨物情報が輸入貨物情報DBに存在すること。
- ②ULD収容貨物でないこと。
- ③CHS業務により仕分けられた仕分け親となっていないこと。ただし、スプリット情報仕分けの仕分け親は除く。
- ④CHS業務により仕分けられたスプリット情報仕分けの仕分け親となっている場合は、運送先がシステム内の保税蔵置場であること。
- ⑤HPK業務が行われたMAWBでないこと。
- ⑥入力された発送場所に蔵置されていること。
- ⑦包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録の場合で、搬出元の保税蔵置場に蔵置されている貨物に対して、税関届出を要する事故情報がある場合は、PCH業務により事故確認が行われていること。
- ⑧入力された発送場所に本業務が未実施の個数が存在すること。
- ⑨仮陸揚貨物または機移し貨物でないこと。
- ⑩輸入申告等の輸入通関手続き（予備申告（Z申告、T申告、J申告、U申告またはS申告）は除く）がされていないこと。
- ⑪運送先に他所蔵置場所の入力がされた場合は、TZC業務またはPCH業務により他所蔵置許可と

なっていること。

⑫運送先に他所蔵置場所の入力がされた場合は、T Z C業務により他所蔵置許可されたAWB番号とP C H業務により他所蔵置許可されたAWB番号が混在しないこと。

⑬他所蔵置許可されたAWB番号はすべての申請者が同一であること。

⑭到着即時輸入申告扱いの予備申告（航空貨物の集積場所で貨物を引き取る場合）（S申告）の登録がされている場合は、通関予定蔵置場所と本業務により入力された運送先が同一であること。

⑮貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。

⑯P C H業務により以下の登録がされていないこと。

「廃棄届受理」

「減却承認」

「亡失届受理」

「保税運送承認」

「税関内収容」

「現場収容」

「貨物の移動差止」（包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録の場合のみ）

「貨物手作業移行」

「登録情報削除承認」

⑰P A I業務により許可・承認登録がされていないこと。

⑱P A K業務により以下の登録がされていないこと。

「外貨機用品積込承認（個別）」

「外貨船用品積込承認」

「別送品輸入許可」

⑲発送場所が他所蔵置場所の場合は、他所蔵置許可期間を経過していないこと。

⑳HAWBの場合は、不突合（オーバー）となっていないこと。

(D) 輸出貨物情報DBチェック

(a) 入力された運送種別が積戻し未通関貨物の運送の場合は、以下のチェックを行う。

①入力されたAWB番号に対する輸出貨物情報が輸出貨物情報DBに存在すること。

②MAWBでないこと。

③入力された発送場所に蔵置されている貨物はすべて積戻し未通関貨物であること。

④入力された発送場所から搬出された積戻し未通関貨物が存在する場合は、搬入済であること。

⑤貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。

⑥貨物取扱中でないこと。

⑦税関届出を要する事故情報がある場合は、税関による事故確認登録がされていること。

⑧特定保税運送の登録の場合で、貨物差止め登録がされていないこと。

⑨手作業移行済の貨物でないこと。

⑩訂正承認保留中の貨物でないこと。

⑪搭載完了された貨物でないこと。

⑫ULDに積み付けされている貨物でないこと。

(b) 入力された運送種別が仮陸揚貨物運送（海上からの移送貨物）の場合は、以下のチェックを行う。

①入力されたAWB番号に対する輸出貨物情報が輸出貨物情報DBに存在すること。

②CHG業務が行われていること。

③仮陸揚貨物であること。

④保税運送申告が行われていないこと。

⑤CHH業務が行われていないこと。

(E) 包括保税運送DBチェック

包括保税運送承認番号が入力された場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力された包括保税運送承認番号に対する包括保税運送情報が包括保税運送DBに存在すること。
- ②承認されていること。
- ③承認の取消しの旨が登録されていないこと。
- ④本業務の入力者と包括保税運送承認を受けた利用者が同一であること。
- ⑤登録されている発送場所及び運送先と入力された発送場所及び運送先が同一であること。
- ⑥本業務の入力年月日が包括保税運送承認期間内であること。

(F) 時間外執務要請届情報関連チェック

保税運送申告を行う場合で本業務が税関の開庁時間外にわたる場合には、以下のチェックを行う。

- ①当該申告分の時間外執務要請届情報が時間外執務要請届DBに存在すること。
- ②本業務が行われた時刻が時間外執務要請届の届出時間帯であること。

5. 処理内容

(1) OLT業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(C) 注意喚起メッセージ出力処理

以下の場合、注意喚起メッセージを出力する。

- ①登録を行うには再送信が必要である。
- ②入力された申告先税関官署と、入力された発送場所を管轄している税関官署が異なる。

(2) OLT01の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 申告税関決定処理

(a) 申告先税関官署の入力がない場合

入力された発送場所を管轄する税関官署を申告税関とする。ただし、包括保税運送承認に係る個別運送情報の場合は、包括保税運送情報に登録されている税関官署を申告税関官署とする。

(b) 申告先税関官署に入力がある場合

入力された申告先税関官署を申告税関官署とする。

(C) 保税運送申告番号、個別運送管理番号または特定保税運送番号払出し処理

保税運送申告番号、個別運送管理番号または特定保税運送番号をシステムより払い出す。

(D) 運送期間設定処理

(a) 保税運送申告の場合

保税運送期間日数DBにより、運送期間を設定する。

- (b) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合
包括保税運送DBに登録されている運送日数から、システム年月日の翌日を起算日として運送期間を設定する。
- (c) 特定保税運送の登録の場合
システム年月日の翌日を起算日として7日間の運送期間を設定する。
- (E) 審査区分等選定処理
保税運送申告の場合は、入力内容に基づき「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」に選定する。
- (F) 保税運送申告DB処理
 - (a) 保税運送申告の場合
 - ①システムにより払い出された保税運送申告番号に対する保税運送申告情報を作成する。
 - ②保税運送申告情報を登録する。
 - ③審査区分等選定処理により「簡易審査扱い」に選定された場合は、承認情報も併せて登録する。
 - (b) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合
 - ①システムにより払い出された個別運送管理番号に対する保税運送申告情報を作成する。
 - ②包括保税運送承認に係る個別運送情報を登録する。
 - ③運送先がシステム外の保税蔵置場の場合は削除表示を設定する。
 - (c) 特定保税運送の登録の場合
システムで払い出した特定保税運送番号に対する保税運送申告情報を作成し、入力情報を登録する。
- (G) 輸入貨物情報DB処理
入力された運送種別が一般運送の場合は、以下の処理を行う。
 - (a) 保税運送申告の場合
 - ①保税運送申告が行われた旨を登録する。
 - ②保税運送申告情報を登録する。
 - ③審査区分等選定処理により「簡易審査扱い」に選定された場合は、承認情報も併せて登録する。
 - (b) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合
 - ①包括保税運送承認に係る個別運送の登録が行われた旨を登録する。
 - ②包括保税運送承認に係る個別運送情報を登録する。
 - (c) 特定保税運送の登録の場合
 - ①特定保税運送の登録が行われた旨を登録する。
 - ②特定保税運送情報を登録する。
- (H) 輸出貨物情報DB処理
入力された運送種別が積戻し未通関貨物の運送または仮陸揚貨物運送（海上からの移送貨物）の場合は、以下の処理を行う。
 - (a) 保税運送申告の場合
 - ①保税運送申告が行われた旨を登録する。
 - ②保税運送申告情報を登録する。
 - ③審査区分等選定処理により「簡易審査扱い」に選定された場合は、承認情報も併せて登録する。
 - (b) 特定保税運送の登録の場合
 - ①特定保税運送の登録が行われた旨を登録する。
 - ②特定保税運送情報を登録する。
- (I) 出力情報出力処理
後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(J) 注意喚起メッセージ出力処理

入力された申告先税関官署と、入力された発送場所を管轄している税関官署が異なる場合は、注意喚起メッセージを出力する。

6. 出力情報

(1) OLT業務の場合

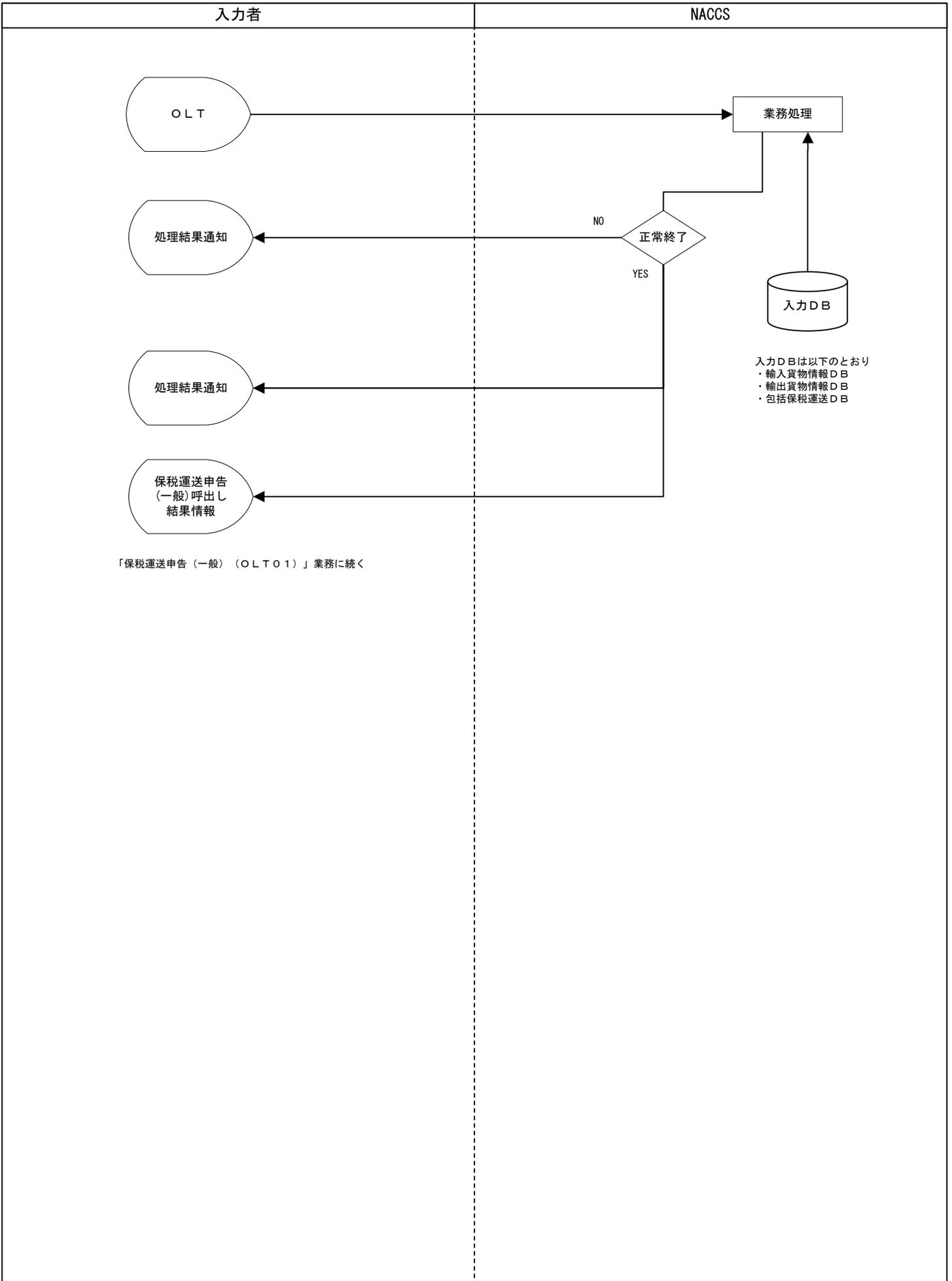
情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
保税運送申告（一般）呼出し結果情報	なし	入力者

(2) OLT01業務の場合

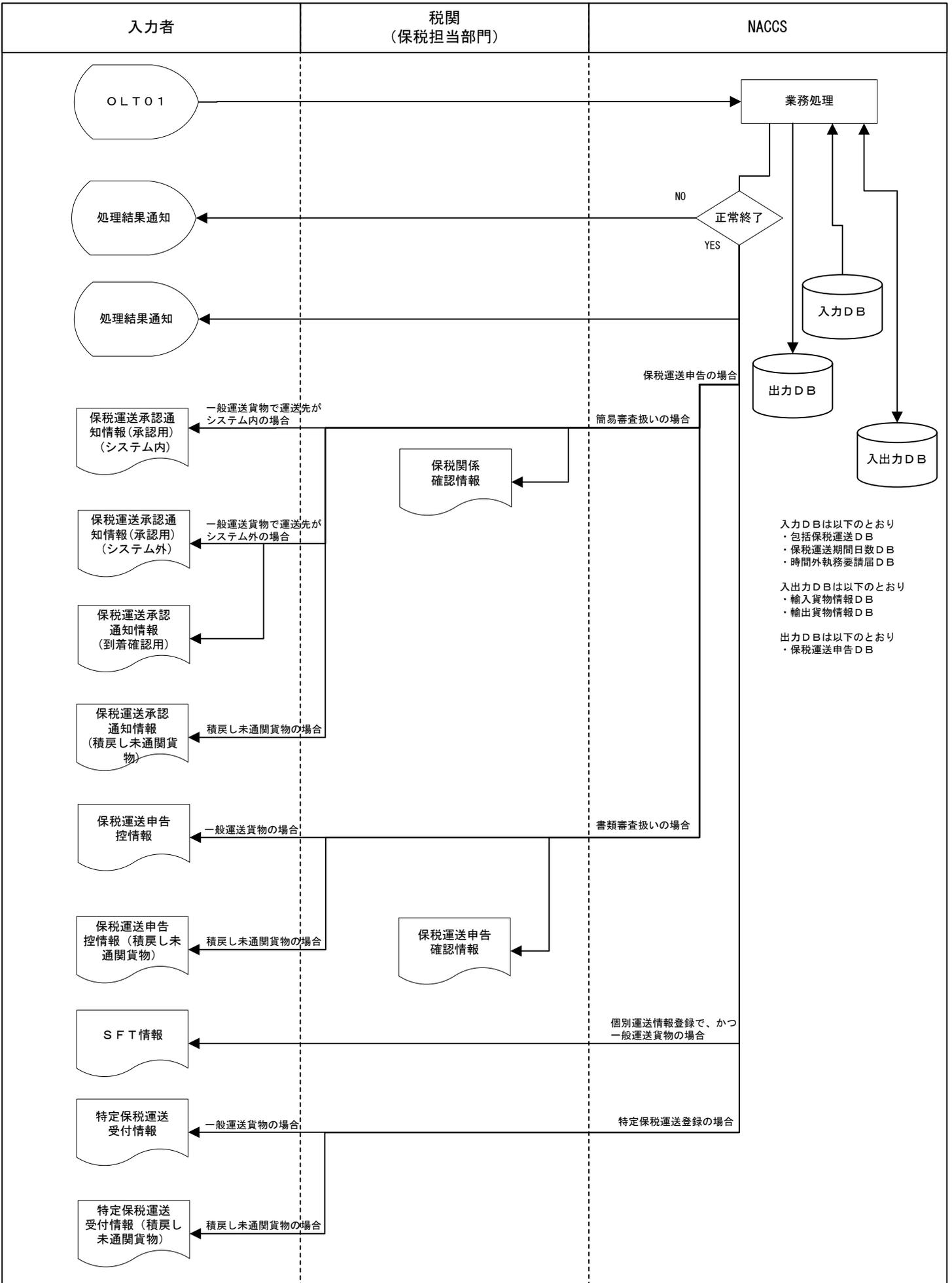
情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
保税運送承認通知情報（承認用）（システム内）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）システム内向けに保税運送申告された （2）「簡易審査扱い」に選定された （3）入力されたAWB番号が一般運送貨物である	入力者
保税運送承認通知情報（承認用）（システム外）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）システム外向けに保税運送申告された （2）「簡易審査扱い」に選定された （3）入力されたAWB番号が一般運送貨物である	入力者
保税運送承認通知情報（到着確認用）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）システム外向けに保税運送申告された （2）「簡易審査扱い」に選定された （3）入力されたAWB番号が一般運送貨物である	入力者
保税運送承認通知情報（積戻し未通関貨物）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）「簡易審査扱い」に選定された （2）入力されたAWB番号が積戻し未通関貨物である	入力者
保税運送承認通知情報（仮陸揚貨物）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）「簡易審査扱い」に選定された （2）入力されたAWB番号が仮陸揚貨物（海上からの移送貨物）である	入力者
保税運送申告控情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）「書類審査扱い」に選定された （2）入力されたAWB番号が一般運送貨物である	入力者
保税運送申告控情報（積戻し未通関貨物）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）「書類審査扱い」に選定された （2）入力されたAWB番号が積戻し未通関貨物である	入力者
保税運送申告控情報（仮陸揚貨物）	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （1）「書類審査扱い」に選定された （2）入力されたAWB番号が仮陸揚貨物（海上からの移送貨物）である	入力者

情報名	出力条件	出力先
保税運送申告確認情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 保税運送申告を行い「書類審査扱い」に選定された場合 (2) 入力されたAWB番号が一般運送貨物または積戻し未通関貨物である	申告先税関 (保税担当部門)
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 保税運送申告を行い「書類審査扱い」に選定された (2) 入力されたAWB番号が仮陸揚貨物（海上からの移送貨物）である	申告先税関 (監視担当部門)
SFT情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録を行った (2) 入力されたAWB番号が一般運送貨物である	入力者
特定保税運送受付情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 特定保税運送の登録を行った (2) 入力されたAWB番号が一般運送貨物である	入力者
特定保税運送受付情報 (積戻し未通関貨物)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 特定保税運送の登録を行った (2) 入力されたAWB番号が積戻し未通関貨物である	入力者
特定保税運送受付情報 (仮陸揚貨物)	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 特定保税運送の登録を行った (2) 入力されたAWB番号が仮陸揚貨物（海上からの移送貨物）である	入力者
保税関係確認情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 保税運送申告を行い「簡易審査扱い」に選定された場合 (2) 入力されたAWB番号が一般運送貨物または積戻し未通関貨物である	申告先税関 (保税担当部門)
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 保税運送申告を行い「簡易審査扱い」に選定された (2) 入力されたAWB番号が仮陸揚貨物（海上からの移送貨物）である	申告先税関 (監視担当部門)

業務コード	業務名
OLT	保税運送申告（一般）呼出し



業務コード	業務名
OLT01	保税運送申告（一般）



業務名（業務コード）		保税運送申告呼出し（一般）（OLT）										条件	コード	入力条件 / 形式			
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰 1	繰 2										
1		入力共通項目		an	398			M									
2		申告先税関官署		CHC an	2			C									税関官署コード (1) 申告先税関官署と発送場所の管轄税関官署が異なる場合は、申告先税関官署を入力 (2) 一般運送または積戻し未通関貨物の運送の場合は、航空対象官署であること (3) 仮陸揚貨物運送（海上からの移送貨物）の場合は、海上対象官署であること (2-4) 申告先税関官署を入力する場合は、発送場所の管轄税関官署と同一税関内の官署を入力 (3-5) 保税運送申告の場合で、入力が省略された場合は、発送場所の管轄税関官署を申告先税関官署とする (4-6) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録または特定保税運送の登録の場合は、入力不可
3		包括保税運送承認番号		HKT an	11			C									(1) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合は、包括保税運送承認番号を入力 (2) 積戻し未通関貨物の運送または仮陸揚貨物運送（海上からの移送貨物）の場合は、入力不可 (3) 特定保税運送の登録の場合は、入力不可
4		運送種別		UN S an	1			C									スペース：一般運送 R：積戻し未通関貨物の運送 K：仮陸揚貨物運送（海上からの移送貨物）
5		AEO識別		AEO an	1			C									(1) 特定保税運送の登録の場合は、「A」を入力 (2) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合は、入力不可
6		発送場所		DEP an	5			M									保税地域コード 入力されたAWB番号がMAWBまたはHAWBの場合は、HPK業務を省略可能な保税蔵置場でないこと
7		運送先		USA an	5			M									保税地域コード (1) 一般運送の場合は、運送先は輸入保税蔵置場であること (2) 積戻し未通関貨物の運送の場合は、運送先はシステム内の輸出保税蔵置場であること (3) 仮陸揚貨物運送（海上からの移送貨物）の場合は、運送先はシステム内の航空会社保税蔵置場であること (3-4) 特定保税運送の登録の場合は、運送先はシステム内の保税蔵置場であること (4-5) 発送場所と同一のコードは入力不可
8	12	AWB番号		AWB an	20			M									入力されたAWB番号を対象外とする場合は、先頭3桁に「XXX」を入力

OLT 保税運送申告(一般)呼出し

ファイル(F) 表示(V)

申告先税関官署 包括保税運送承認番号

運送種別 AEO識別 発送場所*

運送先*

AWB番号

01 -

02 -

03 -

04 -

05 -

06 -

07 -

08 -

09 -

10 -

11 -

12 -

業務名(業務コード)		保税運送申告登録(一般)(OLT01)																		
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件										コード	入力条件/形式	
1		入力共通項目		an	398			M												
2		申告先税関官署		CHC	an	2		C												
3		包括保税運送承認番号		HKT	an	11		C												
4		運送種別		UNS	an	1		C												
5		AEO識別		AEO	an	1		C												
6		発送場所		DEP	an	5		M												
7		運送具		UNP	an	3		M												
8		運送先		USA	an	5		M												
9		運送先名		ARN	an	20		C												
10		記事		NTE	j	140		C												
11	12	処理識別		SYO	an	1		C												
12	*	AWB番号		AWB	an	20		M												
13	*	課税価格の合計		CIF	an	8		C												

OLT01 保税運送申告(一般)

ファイル(F) 表示(V)

申告先税関官署 包括保税運送承認番号

運送種別 AEO識別 発送場所* 運送具*

運送先* -

記事

AWB番号	個数	品名	重量	到着便名		CIF	
				S	SPC	事故	
01 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
02 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
03 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
04 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
05 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
06 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
07 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
08 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
09 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				

出力情報名(出力情報コード)		処理結果通知 (* A O L T 0 1)													コード	出力条件 / 形式												
項番	欄	項目名	属性	桁	線1	線2	条件																					
1		出力共通項目	an	398		M																						メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・ A W B 番号 2 0 桁
2		処理結果コード	an	75		M																					処理結果コード	システムで判定された処理結果コードを出力
3		保税運送申告番号または個別運送管理番号	an	11		C																						(1) 保税運送申告の場合は、システムで払い出された保税運送申告番号を出力 (2) 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録の場合は、システムで払い出された個別運送管理番号を出力 (3) 特定保税運送の登録の場合は、システムで払い出された特定保税運送番号を出力

出力情報名(出力情報コード)		保税運送申告(一般)呼出し結果情報(AAS046)																
項番	欄	項目名	属性	桁	繰1	繰2	条件										コード	出力条件/形式
1		出力共通項目	an	398		M												メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・AWB番号 20桁
2		申告先税関官署	an	2		C											税関官署コード	(1)入力された管轄税関官署を出力 (2)入力省略され、かつ保税運送申告の場合は、発送場所の管轄税関官署を出力
3		包括保税運送承認番号	an	11		C												
4		運送種別	an	1		C												
5		AEO識別	an	1		C												
6		発送場所	an	5		M											保税地域コード	
7		運送先	an	5		M											保税地域コード	
8	12	AWB番号	an	20		M												先頭3桁に「XXX」が入力された欄部については出力せず、次の有効な欄部を詰めて出力
9	*	個数	n	6		M												(1)一般貨物の場合は、輸入貨物情報DBに登録されている個数を出力 (2)未通関積戻し貨物または仮陸揚貨物(海上からの移送貨物)の場合は、輸出貨物情報DBに登録されている個数を出力
10	*	品名	an	21		M												(1)一般貨物の場合は、輸入貨物情報DBに登録されている品名を出力 (2)未通関積戻し貨物または仮陸揚貨物(海上からの移送貨物)の場合は、輸出貨物情報DBに登録されている品名を出力
11	*	重量	n	8		M												(1)一般貨物の場合は、輸入貨物情報DBに登録されている重量を以下の形式で出力 (2)未通関積戻し貨物または仮陸揚貨物(海上からの移送貨物)の場合は、輸出貨物情報DBに登録されている重量を以下の形式で出力 ZZZZZ9.9
12	*	到着便名1	an	6		C												(1)一般貨物の場合は、輸入貨物情報DBに登録されている到着便名の便名部を出力 (2)未通関積戻し貨物または仮陸揚貨物(海上からの移送貨物)の場合は、スペースを出力
13	*	到着便名2	an	5		C												(1)一般貨物の場合は、輸入貨物情報DBに登録されている到着便名の日付部を以下の形式で出力 DDMMM (2)未通関積戻し貨物または仮陸揚貨物(海上からの移送貨物)の場合は、スペースを出力
14	*	スプリット表示	an	3		C												(1)一般貨物の場合は、輸入貨物情報DBに登録されているスプリット表示を以下の形式で出力 スプリット・フルの場合で、すべての便が保税運送対象の場合は、「F」+「到着便数」 以外の場合は、「S」+「保税運送対象の到着便数」 (2)未通関積戻し貨物または仮陸揚貨物(海上からの移送貨物)の場合は、スペースを出力
15	*	特殊貨物記号	an	3		C											SPC(特殊貨物)コード	(1)一般貨物の場合は、輸入貨物情報DBに登録されている特殊貨物記号を出力 (2)未通関積戻し貨物または仮陸揚貨物(海上からの移送貨物)の場合は、輸出貨物情報DBに登録されている特殊貨物記号を出力
16	*	事故貨物	an	5		C											事故コード	(1)一般貨物の場合は、輸入貨物情報DBに登録されている事故情報を出力 (2)未通関積戻し貨物の場合は、輸出貨物情報DBに登録されている税関届出を要する事故情報を出力 (3)仮陸揚貨物(海上からの移送貨物)の場合は、スペースを出力

OLT01 保税運送申告(一般)

ファイル(F) 表示(V)

申告先税関官署 包括保税運送承認番号

運送種別 AEO識別 発送場所* 運送具*

運送先* -

記事

AWB番号	個数	品名	重量	到着便名		CIF	
				S	SPC	事故	
01 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
02 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
03 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
04 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
05 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
06 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
07 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
08 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
09 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="text"/>	/	<input type="text"/>	<input type="text"/>				

5504. 機用品蔵入等承認申請 事項登録

業務コード	業務名
CTA	機用品蔵入等承認申請事項登録

1. 業務概要

「機用品蔵入等承認申請（CTC）」業務に先立ち、機用品蔵入承認申請を行う単位に機用品蔵入承認申請事項を登録する。登録した機用品蔵入承認申請事項は、CTC業務までの間任意に訂正できる。本業務は税関の開庁時間にかかわらず行うことができる。

なお、登録された機用品蔵入承認申請事項はCTC業務が行われない場合は、一定期間経過後システムから削除される。

2. 入力者

通関業

3. 制限事項

- ①機用品品名コードの入力は100欄以下であること。
- ②貨物の総重量は1000トン未満であること。
- ③邦貨換算後のインボイス価格は100億円未満であること。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②保税蔵置場は、入力者の営業区域内であること。
- ③機用品蔵入承認申請事項の訂正の場合は、機用品蔵入承認DBに登録されている事項登録を行った入力者と同一の利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 機用品蔵入承認DBチェック

機用品蔵入承認申請事項の訂正の場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力された機用品蔵入等承認申請番号に対する機用品蔵入承認情報が存在すること。
- ②既に機用品蔵入承認申請されていないこと。

(4) 貨物情報関連チェック ~~輸入貨物情報DBチェック~~

(A) 輸入貨物情報DBチェック

入力されたAWB番号が輸入貨物情報DBに登録されている場合は、以下のチェックを行う。

- ~~(A)~~ a) 入力されたAWB番号に対する輸入貨物情報が存在すること。
- ~~(B)~~ b) ULDでないこと。
- ~~(C)~~ c) MAWBでないこと。
- ~~(D)~~ d) 一般仮陸揚貨物でないこと。
- ~~(E)~~ e) 仮・仮貨物でないこと。
- ~~(F)~~ f) 一カ所の航空システム参加保税地域に全量蔵置されていること。
~~保税蔵置場に全量蔵置されていること。~~
- ~~(G)~~ g) 突合済であること。
- ~~(H)~~ h) スプリット貨物の場合は、全量到着済であること。
- ~~(I)~~ i) 他所蔵置場所に蔵置中でないこと。
- ~~(J)~~ j) 以下の税関手続きがされていないこと。

- ①他の輸入申告等がされていないこと。

②「許可・承認等情報登録（輸入）（PCH）」業務による以下の登録

- 「廃棄届受理」
- 「減却承認」
- 「亡失届受理」
- 「保税運送承認」
- 「税関内收容」
- 「現場收容」
- 「登録情報削除承認」
- 「手作業移行」

③「許可・承認等情報登録（輸入通関）（PAI）」業務による許可・承認登録

④「許可・承認等情報登録（監視）（PAK）」業務による以下の登録

- 「外貨機用品積込承認（個別）」
- 「外貨船用品積込承認」
- 「別送品輸入許可」

(~~k~~) 積戻し貨物としての仕分けまたは仕合せがされていないこと。

(~~l~~) 輸入貨物情報DBに登録されている貨物が蔵置されている蔵置場からの保税運送申告がされていないこと。

(~~m~~) 仕分けの親となっていないこと。

(~~n~~) 貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。

(~~o~~) 訂正保留中でないこと。

(~~p~~) 輸入貨物情報DBに登録されている以下の内容に不明なものがないこと。

- ①積載機名1
- ②積載機名2
- ③入港年月日
- ④取卸港コード

(~~q~~) 運送先欄に入力がある場合は、輸入貨物情報DBに登録されている貨物が蔵置されている蔵置場と同一でないこと。

(~~r~~) HAWBの場合は、不突合（オーバー）となっていないこと。

(~~s~~) HAWBの場合は、処理対象となる保税蔵置場が「混載貨物確認情報登録（HPK）」業務を省略可能な保税蔵置場でないこと。

(B) 貨物情報DBチェック

入力されたB/L番号が貨物情報DBに登録されている場合は、以下のチェックを行う。

(a) B/L番号が貨物情報DBに存在すること。

(b) 輸入貨物であること。

(c) 輸入申告等がされていないこと。

(d) 仕分けの親となっていないこと。

(e) 混載仕分けの親となっていないこと。

(f) 訂正保留中となっていないこと。

(g) 以下の登録がされていないこと。

- ①「廃棄届受理」
- ②「亡失届受理」
- ③「減却承認」
- ④「現場收容」
- ⑤「税関内收容」
- ⑥「その他の搬出承認」

- (h) 貨物手作業移行されていないこと。
- (i) 削除対象となっていないこと。
- (j) 他所蔵置場所に蔵置中でないこと。
- (k) 海上システム参加保税地域に蔵置されていること。
- (l) 運送先欄に入力がある場合は、貨物情報DBに登録されている貨物が蔵置されている蔵置場と同一でないこと。
- (m) 運送先欄に入力がない場合は、コンテナ詰貨物でないこと。
- (n) 保税運送申告がされていないこと。
- (o) 貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。

(5) 保税蔵置場チェック

- ①運送先欄に入力がある場合は、入力された運送先が在庫管理可能な保税蔵置場であること。
- ②運送先欄に入力がない場合は、輸入貨物情報DBまたは貨物情報DBに登録されている保税蔵置場が在庫管理可能な蔵置場であること。

(6) 国内用輸出入者DBチェック

入力された輸入者に対する輸出入者情報が存在すること。

(7) 機用品在庫DBチェック

- ①入力された輸入者、機用品品名コード、運送先または輸入貨物情報DBに登録されている保税蔵置場に対する機用品在庫情報が存在すること。
- ②「機用品関連情報登録(CRS01)」業務により機用品蔵入承認となる旨の登録がされていること。
- ③CRS01業務による譲渡(自社管理機用品)の旨の登録がされていないこと。

(8) 機用品品名DBチェック

入力された機用品品名コードに対する機用品品名情報が存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) あて先官署決定処理

- (A) あて先官署欄に入力がある場合は、入力された申告官署とする。
- (B) あて先官署コード欄に入力がない場合は、以下の項番の順で決定する。

項番	処理	決定されるあて官署コード
1	以下の条件をすべて満たす場合 ①入力者が認定通関業者である ②輸入貨物情報DBまたは貨物情報DBに登録されている保税蔵置場の管轄税関官署に認定通関業者用申告官署に変換を行う旨が登録されている ③入力者について認定通関業者用申告官署がシステム登録されている	認定通関業者用申告官署
2	入力者について通関業者用申告官署がシステムに登録されている場合	通関業者用申告官署
3	上記以外の場合	輸入貨物情報DBまたは貨物情報DBに登録されている保税蔵置場を管轄する申告官署

- (3) あて先部門決定処理
 入力された大額・少額識別に基づき、あて先部門を決定する。
 ただし、あて先部門に入力がある場合は、入力された部門とする。
- (4) 邦貨換算処理
 インボイス通貨コードに入力された通貨コードが「JPY」以外の場合は、入力された通貨コードにより本業務の入力日における換算レートを適用し、以下の換算式で邦貨換算処理を行う。
 入力金額×適用レート（円位未満を切り捨て）
- (5) 重量算出処理
 入力された個数に、入力された機用品品名コード毎の単位重量を乗じて、重量を算出する。
- (6) 課税価格算出処理
 (A) 航空会社用総金額算出処理
 (a) 「航空会社用単価^{*1}×入力個数」を機用品品名コード毎に算出し、機用品品目価格を算出する。ただし、円位未満を切り捨て後「0」円の場合は、「1」円とする。
 (*1) 機用品在庫DBに登録されている機用品品名コード毎の航空会社用単価
 (b) 機用品品目価格の合計を航空会社用総金額とする。
- (B) 課税価格算出処理
 (a) インボイス価格条件が「FOB」の場合

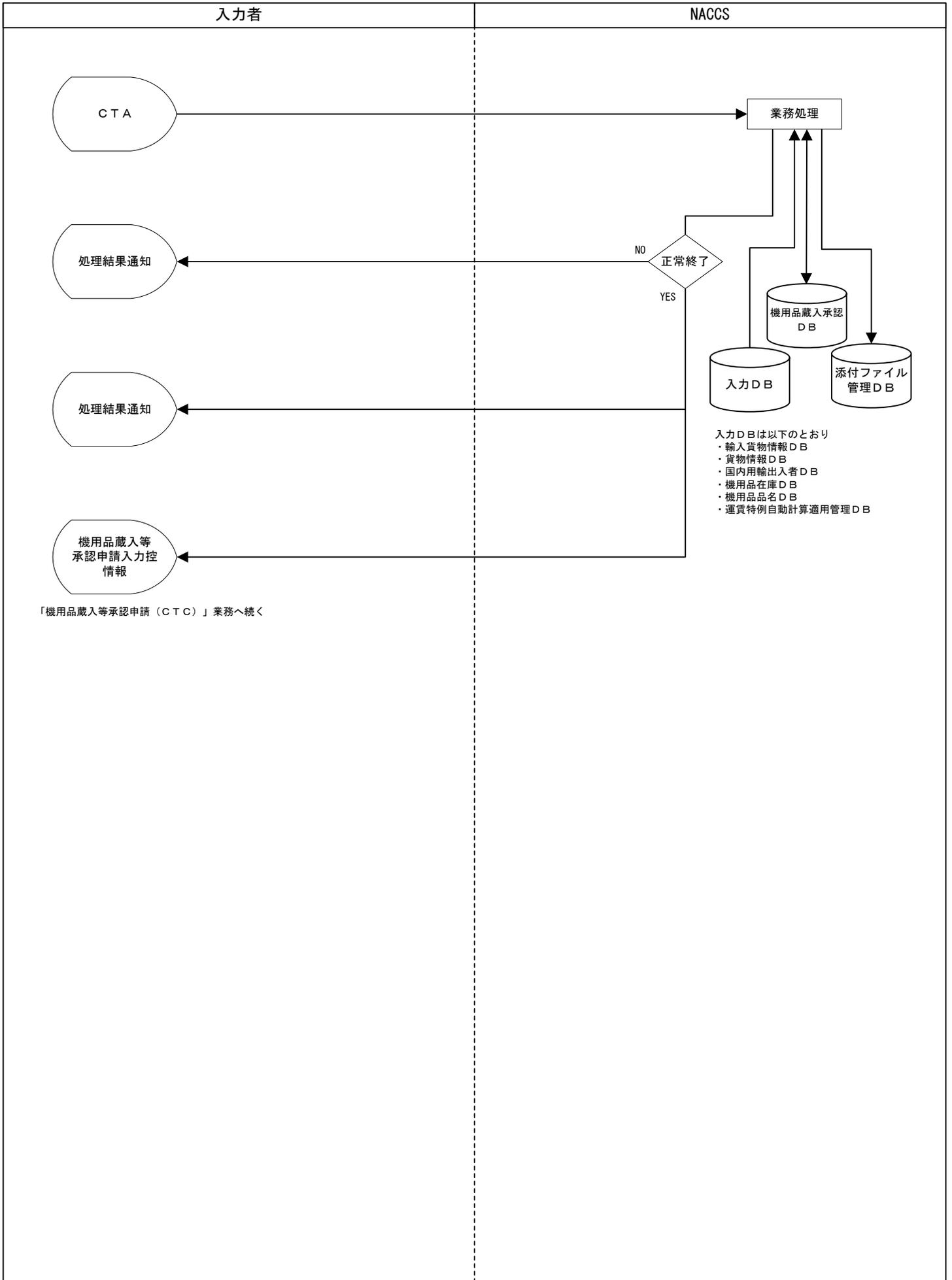
$$\frac{\text{機用品品目価格} \times (\text{インボイス価格}^{*2} + \text{運賃}^{*3})^{*4}}{\text{航空会社用総金額}}$$
 を課税価格^{*4}とする。
 (*2) 邦貨換算後のインボイス価格
 (*3) 税関長公示額における「通常要すると認められる運賃及び保険料の額」に示される計算式に基づき、運賃特例自動計算適用管理DBに登録されている「FOB価格」の価格帯に応じた運賃計算式により算出された金額。
 (*4) 円位未満切り捨て
 (b) インボイス価格条件が「C&F」または「CIF」の場合

$$\frac{\text{機用品品目価格} \times \text{インボイス価格}^{*2}}{\text{航空会社用総金額}}$$
 を課税価格^{*4}とする。
- (7) 機用品蔵入等承認申請番号払出し処理
 機用品蔵入承認申請事項の登録を受け付けた場合は、機用品蔵入等承認申請番号を払い出す。ただし、機用品蔵入承認申請事項の訂正の場合は、機用品蔵入等承認申請番号を払い出さない。
- (8) 機用品蔵入承認DB処理
 入力内容を機用品蔵入承認DBに登録・更新する。
- (9) 添付ファイル管理DB処理
 添付ファイル管理DBに入力された申請番号に係る情報が存在する場合は、本業務入力者を登録する。
- (10) 注意喚起メッセージ出力処理
 注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。主たる例示を以下に示す。
 ① 輸入貨物情報DBまたは貨物情報DBに登録されている保税蔵置場に基づくあて先官署または入力者に係る認定通関業者用申告先官署とあて先官署コード欄に入力された税関官署コードに対応するあて先官署が異なる場合。
- (11) 出力情報出力処理
 後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
機用品蔵入等承認申請 入力控情報	なし	入力者

業務コード	業務名
CTA	機用品蔵入等承認申請事項登録



CTA 機用品蔵入等承認申請事項登録

ファイル(F) 表示(V)

共通部 繰返部

申請番号

大額/少額*
 あて先官署
 あて先部門

輸入者*

A W B 番号 -
 B / L 番号

無為替輸入承認*
 他法令

仕入書価格* -

運送先

記事

出力情報名 (出力情報コード)		処理結果通知 (*ACTA)																									
項番	欄	項目名	属性	桁	線1	線2	条件														コード	出力条件/形式					
1		出力共通項目	an	398			M																				メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・機用品蔵入等承認申請番号 11桁
2		処理結果コード	an	75			M																		処理結果コード	システムで判定された処理結果を出力	
3		機用品蔵入等承認申請番号	an	11			C																			(1) 初期登録の場合は、システムにより払い出された機用品蔵入等承認申請番号を出力 (2) 機用品蔵入承認申請事項の訂正の場合は、入力された機用品蔵入等承認申請番号を出力	

出力情報名(出力情報コード)		機用品蔵入等承認申請入力控情報(AAD04A)														
項番	欄	項目名	属性	桁	繰1	繰2	条件						コード	出力条件/形式		
							航空			海上						
1		出力共通項目	an	398			M				M					メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・機用品蔵入等承認申請番号 11桁 ・AWB番号 20桁 ・AWB番号/B/L番号 35桁
2		機用品蔵入等承認申請番号	an	11			M				M					(1)初期登録の場合は、システムにより払い出された機用品蔵入等承認申請番号を出力 (2)機用品蔵入承認申請事項の訂正の場合は、入力された機用品蔵入等承認申請番号を出力
3		事項登録年月日	n	8			M				M					本業務が行われた年月日を出力
4		保税蔵置場	an	5			M				M			保税地域コード	(1)航空の場合、輸入貨物情報DBに登録されている保税蔵置場を出力 (2)海上の場合、貨物情報DBに登録されている保税蔵置場を出力	
5		大額・少額識別	an	1			M				M					入力された大額・少額識別を出力
6		あて先官署	an	2			M				M					(1)入力がある場合は、入力されたあて先官署を出力 (2)入力がない場合は、輸入貨物情報DBまたは貨物情報DBに登録されている保税蔵置場または入力者によってシステムで選定したあて先税関を出力
7		あて先部門	an	2			M				M			申告先部門コード	(1)入力がある場合は、入力されたあて先部門コードを出力 (2)入力がない場合は、入力された大額・少額識別によってシステムで選定したあて先部門を出力	
8		輸入者	an	2			M				M			航空会社コード	入力された輸入者を出力	
9		輸入者名	an	70			C				C					入力された輸入者よりシステムに登録されている輸入者名を出力
10		郵便番号	an	7			C				C					入力された輸入者よりシステムに登録されている郵便番号を出力
11		住所1(都道府県)	an	15			C				C					入力された輸入者よりシステムに登録されている住所1(都道府県)を出力
12		住所2(市区町村(行政区名))	an	35			C				C					入力された輸入者よりシステムに登録されている住所2(市区町村)を出力
13		住所3(町域名・番地)	an	35			C				C					入力された輸入者よりシステムに登録されている住所3(町域名・番地)を出力
14		住所4(ビル名ほか)	an	70			C				C					入力された輸入者よりシステムに登録されている住所4(ビル名ほか)を出力
15		AWB番号	an	20			M				X					入力されたAWB番号を出力
16		B/L番号	an	35			X				M					入力されたB/L番号を出力
17		貨物個数	n	68			M				M					(1)航空の場合、輸入貨物情報DBに登録されている貨物個数を出力 (2)海上の場合、貨物情報DBに登録されている貨物個数を出力
18		個数単位コード	an	3			X				M			包装種類コード (UN/ECE勧告第21号・英字)	貨物情報DBに登録されている貨物個数単位を出力	
19		貨物重量	n	810			M				M					(1)航空の場合、輸入貨物情報DBに登録されている貨物重量を以下の形式で出力 ZZZZZ9.9 ZZZZZZ9.9 (2)海上の場合、貨物情報DBに登録されている貨物重量を以下の形式で出力 ZZZZZ9.999
20		重量単位コード	an	3			X				M			数量単位コード (UN/ECE勧告第20号・英字)	貨物情報DBに登録されている貨物重量単位を出力	
21		記号番号	an	140			X				C					
22		積載船舶コード	an	9			X				M					貨物情報DBに登録されている積載船舶コードを出力

出力情報名(出力情報コード)		機用品蔵入等承認申請入力控情報(AAD04A)													コード	出力条件/形式	
項番	欄	項目名	属性	桁	繰1	繰2	条件						航空	海上			
							航空	海上									
23		積載機名 積載船(機)名	an	42 35			M					M					(1)航空の場合、航空会社コード(2桁)、フライトナンバー(4桁)、スラッシュ(1桁)、日付(DDMM M)の体系で出力 (2)海上の場合、貨物情報DBに登録されている積載船名を出力
24		蔵量税関	an	10			M					M					(1)航空の場合、輸入貨物情報DBに登録されている保税蔵置場によりシステムに登録されている蔵量税関を出力 (2)海上の場合、貨物情報DBに登録されている保税蔵置場によりシステムに登録されている蔵量税関を出力
25		蔵量税関部門	an	2			M					M				申告先部門コード	(1)航空の場合、輸入貨物情報DBに登録されている保税蔵置場によりシステムに登録されている蔵量税関部門を出力 (2)海上の場合、貨物情報DBに登録されている保税蔵置場によりシステムに登録されている蔵量税関部門を出力
26		無為替輸入承認識別	an	1			M					M					入力された無為替輸入承認識別を出力
27		他法令	an	2	5		C					C				他法令コード	入力された他法令コードを出力
28		インボイス価格条件	an	3			M					M				価格条件コード	入力されたインボイス価格条件を出力
29		インボイス通貨コード	an	3			M					M				通貨コード(ISO 4217・英字)	入力されたインボイス価格の通貨種別を出力
30		インボイス価格	n	11			M					M					入力されたインボイス価格を出力
31		運送先	an	5			C					C				保税地域コード	入力された運送先を出力
32		記事	j	134			C					C					入力された記事を出力
33	100	機用品品名コード	an	4			M					M				機用品品名コード	入力された機用品品名コードを出力
34	*	機用品品名	an	25			M					M					機用品品名コードに基づきシステムに登録されている機用品品名を出力
35	*	個数	n	6			M					M					入力された個数を出力
36	*	単位	an	2			M					M					機用品在庫DBに登録されている単位を出力
37	*	申告価格	n	8			M					M					システムにより算出した申告価格を出力
38	*	原産地	an	2			M					M				国名コード	(1)入力がある場合は、入力された原産地を出力 (2)入力がない場合は、機用品在庫DBに登録されている原産地を出力
39	*	欄統合識別	an	1			M					M					機用品品名DBに登録されている欄統合識別を出力 1:統計品目コード「000000011」に対応する機用品品名コードの場合 2:統計品目コード「000000019」に対応する機用品品名コードの場合

CTC 機用品蔵入等承認申請入力控

ファイル(F) 表示(V)

共通部 繰返部

申請番号

登録年月日 / / 蔵置場所

大額/少額 あて先官署 あて先部門

輸入者

住所

AWB番号 - B/L番号

貨物個数 貨物重量

記号番号

積載船(機) -

蔵置税関

無為替輸入承認 他法令

仕入書価格 -

運送先

記事

5506. 機用品蔵入等承認申請

業務コード	業務名
CTC	機用品蔵入等承認申請

1. 業務概要

「機用品蔵入等承認申請事項登録（CTA）」業務後、機用品蔵入承認申請を行う。

登録内容に基づき機用品蔵入承認申請を「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」のいずれかに選定する。
本業務が税関の開庁時間外にわたる場合は、業務を行った時刻に係る時間外執務要請届がされている必要がある。

2. 入力者

通関業

3. 制限事項

算出された機用品品名コード毎の課税価格は1億円未満であること。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②機用品蔵入承認DBに登録されている事項登録を行った入力者と同一の利用者であること。
- ③システムに通関士として登録されていること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

なし。

(3) 機用品蔵入承認DBチェック

- ①入力された機用品蔵入等承認申請番号に対する機用品蔵入承認情報が存在すること。
- ②機用品蔵入承認申請事項の登録が完了していること。（CTA業務でエラーがないこと。）
- ③機用品蔵入承認申請されていないこと。

(4) 時間外執務要請届DBチェック

本業務が税関の開庁時間外に行われた場合は、以下のチェックを行う。

- ①当該申請者分の時間外執務要請届DB（届出種別「A：通関」または「E：通関（24時間提出可能）」）が存在すること。
- ②本業務が行われた時刻が時間外執務要請届の届出時間帯であること。

(5) 貨物情報関連チェック ~~輸入貨物情報DBチェック~~

(A) 輸入貨物情報DBチェック

機用品蔵入承認DBに登録されているAWB番号に対して以下のチェックを行う。

- (~~A~~) a) AWB番号に対する輸入貨物情報が存在すること。
- (~~B~~) b) ULDでないこと。
- (~~C~~) c) MAWBでないこと。
- (~~D~~) d) 一般仮陸揚貨物でないこと。
- (~~E~~) e) 仮・仮貨物でないこと。
- (~~F~~) f) 一カ所の保税蔵置場に全量蔵置されていること。
- (~~G~~) g) 突合済であること。
- (~~H~~) h) スプリット貨物の場合は、全量到着済であること。
- (~~I~~) i) 他所蔵置場所に蔵置中でないこと。

- (j) 以下の税関手続きがされていないこと。
 - ①他の輸入申告等がされていないこと。
 - ②「許可・承認等情報登録（輸入）（PCH）」業務による以下の登録
 - 「廃棄届受理」
 - 「減却承認」
 - 「亡失届受理」
 - 「保税運送承認」
 - 「税関内収容」
 - 「現場収容」
 - 「登録情報削除容認」
 - 「手作業移行」
 - ③「許可・承認等情報登録（輸入通関）（PAI）」業務による許可・承認登録
 - ④「許可・承認等情報登録（監視）（PAK）」業務による以下の登録
 - 「外貨機用品積込承認（個別）」
 - 「外貨船用品積込承認」
 - 「別送品輸入許可」
- (k) 積戻し貨物としての仕分けまたは仕合せがされていないこと。
- (l) 輸入貨物情報DBに登録されている貨物が蔵置されている蔵置場からの保税運送申告がされていないこと。
- (m) 仕分けの親となっていないこと。
- (n) 貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。
- (o) 訂正保留中でないこと。
- (p) 輸入貨物情報DBに登録されている以下の内容に不明なものがないこと。
 - ①積載機名1
 - ②積載機名2
 - ③入港年月日
 - ④取卸港コード
- (q) HAWBの場合は、不突合（オーバー）となっていないこと。
- (r) HAWBの場合は、処理対象となる保税蔵置場が「混載貨物確認情報登録（HPK）」業務を省略可能な保税蔵置場でないこと。
- (s) 機用品蔵入承認DBに登録されている積載機名1、積載機名2、入港年月日及び取卸港コード（以下、「積載機情報」という。）と、輸入貨物情報DBに登録されている積載機情報が同一であること。
 なお、スプリット貨物である場合は、輸入貨物情報DBに登録されている複数の積載機情報のいずれかと同一であること。
- (t) 機用品蔵入承認DBに登録されている積出地と、輸入貨物情報DBに登録されている積出地が同一であること。

(B) 貨物情報DBチェック

機用品蔵入承認DBに登録されているB/L番号に対して以下のチェックを行う。

- (a) B/L番号が貨物情報DBに存在すること。
- (b) 輸入貨物であること。
- (c) 他の輸入申告等がされていないこと。
- (d) 機用品蔵入承認DBに登録されている保税蔵置場に貨物が蔵置されていること。
- (e) 仕分けの親となっていないこと。
- (f) 混載仕分けの親となっていないこと。

(g) 訂正保留中となっていないこと。

(h) 以下の項目について、機用品蔵入承認DBに登録されている内容と貨物情報DBに登録されている内容が同一であること。

① 貨物個数

② 積載船舶コード

③ 船卸港コード

(i) 以下の登録がされていないこと。

① 「廃棄届受理」

② 「亡失届受理」

③ 「減却承認」

④ 「現場収容」

⑤ 「税関内収容」

⑥ 「その他の搬出承認」

(j) 貨物手作業移行されていないこと。

(k) 削除対象となっていないこと。

(l) 他所蔵置場所に蔵置中でないこと。

(m) 保税運送申告がされていないこと。

(n) 貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。

(6) 機用品在庫DBチェック

①機用品蔵入承認DBに保税運送兼用の旨が登録されている場合、輸入者、運送先及び機用品品名コードに対する機用品在庫情報が存在すること。

②機用品蔵入承認DBに保税運送兼用の旨が登録されていない場合、輸入者、保税蔵置場及び機用品品名コードに対する機用品在庫情報が存在すること。

③「機用品関連情報登録（CRS01）」業務による機用品蔵入承認となる旨の登録がされていること。

④CRS01業務による譲渡（自社管理機用品）の旨の登録がされていないこと。

(7) 国内用輸出者チェック

機用品蔵入承認DBに登録されている輸出入者コードに対する輸出入者情報が存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) あて先官署決定処理

輸入貨物情報DBに登録されている保税蔵置場に基づき、あて先官署を決定する。

ただし、CTA業務によりあて先官署に入力がある場合は、入力された官署とする。

(3) あて先部門決定処理

CTA業務において、大額・少額識別に入力された内容に基づき、あて先部門を決定する。

ただし、CTA業務によりあて先部門に入力がある場合は、入力された部門とする。

(4) 邦貨換算処理

CTA業務において、インボイス通貨コードに入力された通貨コードが「JPY」以外の場合は、入力された通貨コードにより本業務の入力日における換算レートを適用し、以下の換算式で邦貨換算処理を行う。

入力金額×適用レート（円位未満を切り捨て）

(5) 課税価格算出処理

(A) 航空会社用総金額算出処理

(a) 「航空会社用単価^{*1}×個数」を機用品品名コード毎に算出し、機用品品目価格を算出する。ただし、円位未満を切り捨て後「0」円の場合は、「1」円とする。

(b) 機用品品目価格の合計を航空会社用総金額とする。

(*1) 機用品在庫DBに登録されている機用品品名コード毎の航空会社用単価

(B) 課税価格算出処理

(a) インボイス価格条件が「FOB」の場合

$$\frac{\text{機用品品目価格} \times (\text{インボイス価格}^{*2} + \text{運賃}^{*3})^{*4}}{\text{航空会社用総金額}}$$
を課税価格^{*4}とする。

(*2) 邦貨換算後のインボイス価格

(*3) 税関長公示額における「通常要すると認められる運賃及び保険料の額」に示される計算式に基づき、運賃特例自動計算適用管理DBに登録されている「FOB価格」の価格帯に応じた運賃計算式により算出された金額。

(*4) 円位未満切り捨て

(b) インボイス価格条件コードが「C&F」または「CIF」の場合は、

$$\frac{\text{機用品品目価格} \times \text{インボイス価格}^{*2}}{\text{航空会社用総金額}}$$
を課税価格^{*4}とする。

(6) 統合処理

(A) 統合判定処理

以下の統計品目コードに対応する欄毎に統合を行う。

「000000011」

「000000019」

(B) 統合後の課税価格合計処理

統計品目コード毎に統合された欄の課税価格合計を算出する。

(C) 統合後の貨物重量合計処理

統計品目コード毎に統合された欄の貨物重量合計を算出する。

(D) 統合後の原産地コード設定処理

統計品目コード毎に統合された欄の内、課税価格が最も高い欄の原産地コードを設定する。

(E) 統合後の機用品品名設定処理

統計品目コード毎に統合された欄の内、課税価格が最も高い欄の機用品品名を設定する。

(7) 審査区分選定処理

機用品蔵入承認DBの内容に基づき、「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」いずれかの審査区分に選定する。

(8) 利用者用整理番号払出し処理

利用者用整理番号の付与が必要である旨がシステムに登録されている入力者の場合は、利用者単位の通番を払い出す。

(9) 機用品蔵入承認DB処理

機用品蔵入承認申請の旨を機用品蔵入承認DBに登録する。

(10) 貨物情報関連処理 **輸入貨物情報DB処理**

(A) **輸入貨物情報DB処理**

機用品蔵入承認申請の旨を輸入貨物情報DBに登録する。

(B) **貨物情報DB処理**

機用品蔵入承認申請の旨を貨物情報DBに登録する。

(11) 審査区分に基づく処理

審査区分が「簡易審査扱い」の場合は、以下の処理を行う。

(A) 機用品蔵入承認DB処理

機用品蔵入承認の旨を機用品蔵入承認DBに登録する。

(B) 輸入貨物情報DB処理

機用品蔵入承認の旨を輸入貨物情報DBに登録する。

(12) 時間外執務要請届使用実績DB処理

税関の開庁時間外の場合、時間外執務要請届を使用した旨を時間外執務要請届使用実績DBに登録する。

(13) 添付ファイル管理DB処理

添付ファイル管理DBに入力された機用品蔵入等承認申請番号に係る情報が存在する場合は、以下の処理を行う。

①機用品蔵入承認申請された旨を登録する。

②審査区分が「簡易審査扱い」の場合は、機用品蔵入承認された旨を登録する。

(14) 出力情報出力処理

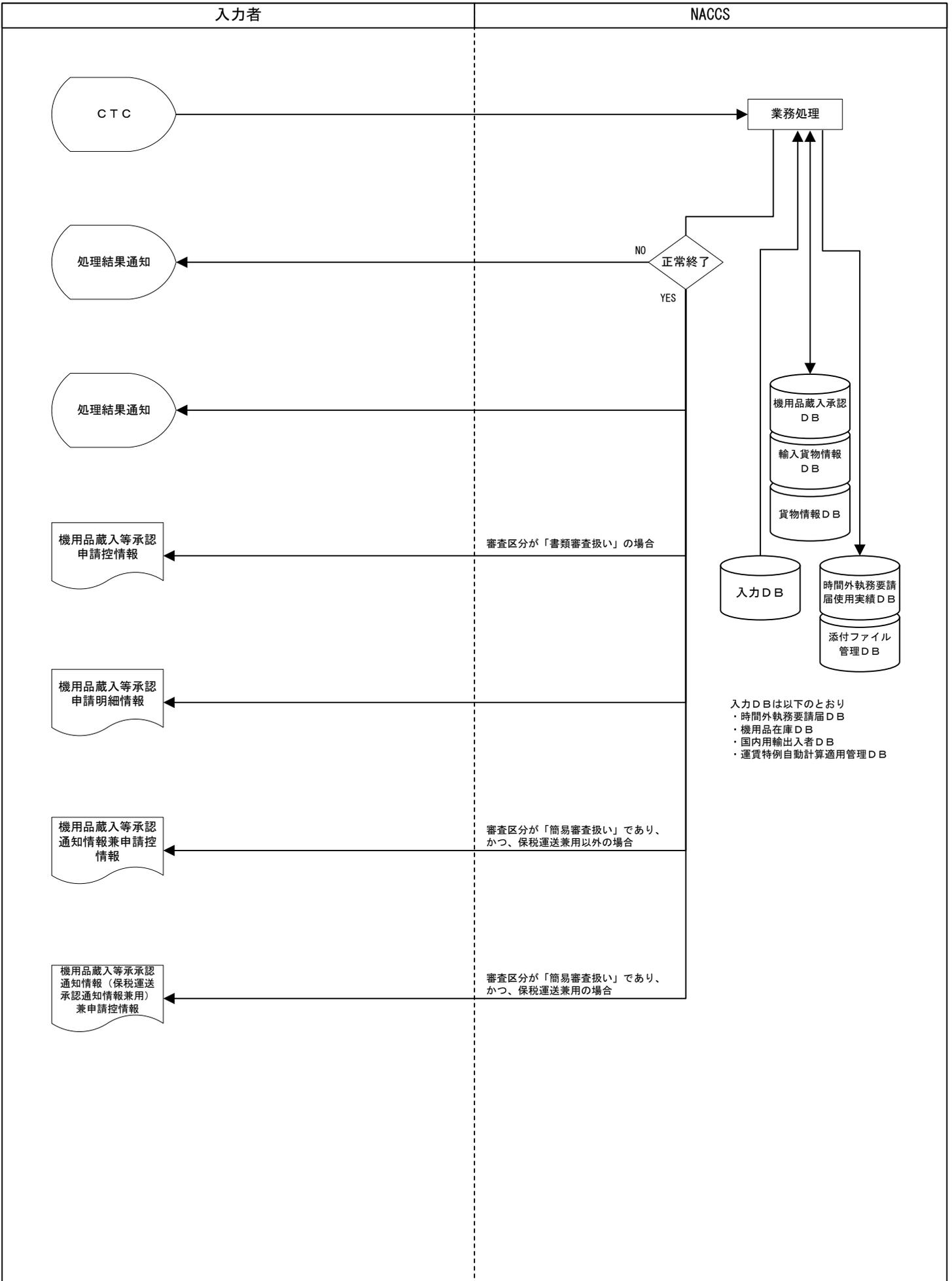
後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
機用品蔵入承認申請控情報	①審査区分が「書類審査扱い」の場合 ②運送先欄に登録がある場合で、運送先の保税地域区分が「A：総合保税地域」以外の場合 ③運送先欄に登録がない場合で、通関予定蔵置場の保税地域区分が「A：総合保税地域」以外の場合	入力者
機用品総保入承認申請控情報	①審査区分が「書類審査扱い」の場合 ②運送先欄に登録がある場合で、運送先の保税地域区分が「A：総合保税地域」の場合 ③運送先欄に登録がない場合で、通関予定蔵置場の保税地域区分が「A：総合保税地域」の場合	入力者
機用品蔵入承認申請明細情報	なし ①運送先欄に登録がある場合で、運送先の保税地域区分が「A：総合保税地域」以外の場合 ②運送先欄に登録がない場合で、通関予定蔵置場の保税地域区分が「A：総合保税地域」以外の場合	入力者
機用品総保入承認申請明細情報	①運送先欄に登録がある場合で、運送先の保税地域区分が「A：総合保税地域」の場合 ②運送先欄に登録がない場合で、通関予定蔵置場の保税地域区分が「A：総合保税地域」の場合	入力者
機用品蔵入承認通知情報兼申請控情報	①審査区分が「簡易審査扱い」であり、かつ、保税運送兼用以外の場合 ②運送先欄に登録がある場合で、運送先の保税地域区分が「A：総合保税地域」以外の場合 ③運送先欄に登録がない場合で、通関予定蔵置場の保税地域区分が「A：総合保税地域」以外の場合	入力者
機用品総保入承認通知情報兼申請控情報	①審査区分が「簡易審査扱い」であり、かつ、保税運送兼用以外の場合 ②保税地域区分が「A：総合保税地域」の場合 ③運送先欄に登録がある場合で、運送先の保税地域区分が「A：総合保税地域」の場合 ④運送先欄に登録がない場合で、通関予定蔵置場の保税地域区分が「A：総合保税地域」の場合	入力者
機用品蔵入承認通知情報（保税運送承認通知情報兼用）兼申請控情報	①審査区分が「簡易審査扱い」であり、かつ、保税運送兼用の場合 ②運送先欄に登録がある場合で、運送先の保税地域区分が「A：総合保税地域」以外の場合 ③運送先欄に登録がない場合で、通関予定蔵置場の保税地域区分が「A：総合保税地域」以外の場合	入力者
機用品総保入承認通知情報（保税運送承認通	①審査区分が「簡易審査扱い」であり、かつ、保税運送兼用以外の場合	入力者

<p>知情報兼用) 兼申請控 情報</p>	<p>②保税地域区分が「A：総合保税地域」の場合 ③運送先欄に登録がある場合で、運送先の保税 地域区分が「A：総合保税地域」の場合 ④運送先欄に登録がない場合で、通関予定蔵置 場の保税地域区分が「A：総合保税地域」の場 合</p>	
---------------------------	---	--

業務コード	業務名
CTC	機用品蔵入等承認申請



業務名 (業務コード)		機用品蔵入承認申請 (CTC)																	
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	線1	線2	条件										コード	入力条件 / 形式
1		入力共通項目	-	an	398			M											
2		機用品蔵入承認申請 番号	ISN	an	11			M											

CTC 機用品蔵入等承認申請

ファイル(F) 表示(V)

機用品蔵入等承認申請番号*

出力情報名(出力情報コード)		処理結果通知(*ACTC)														コード	出力条件/形式				
項番	欄	項目名	属性	桁	繰1	繰2	条件														
1		出力共通項目	an	398		M															メールサブジェクトには以下の項目を出力 ・機用品蔵入承認申請番号 11桁
2		処理結果コード	an	75		M														処理結果コード	システムで判定された処理結果を出力
3		機用品蔵入承認申請番号	an	11		C															入力された機用品蔵入承認申請番号を出力
4		AWB番号/B/L番号	an	20 35		C															機用品蔵入承認DBに登録されているAWB番号またはB/L番号を出力